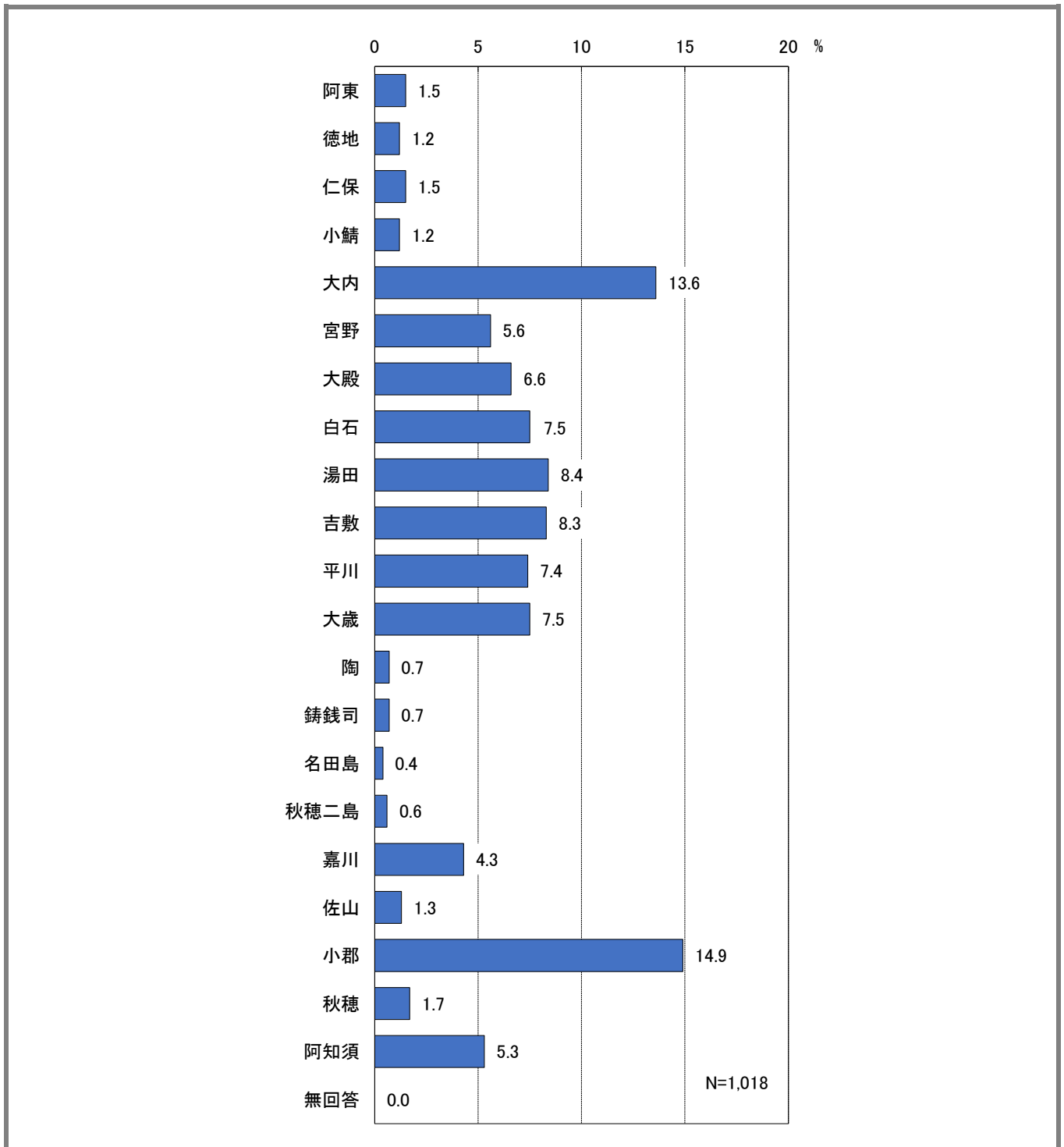


第2章 小学生の保護者に対する調査

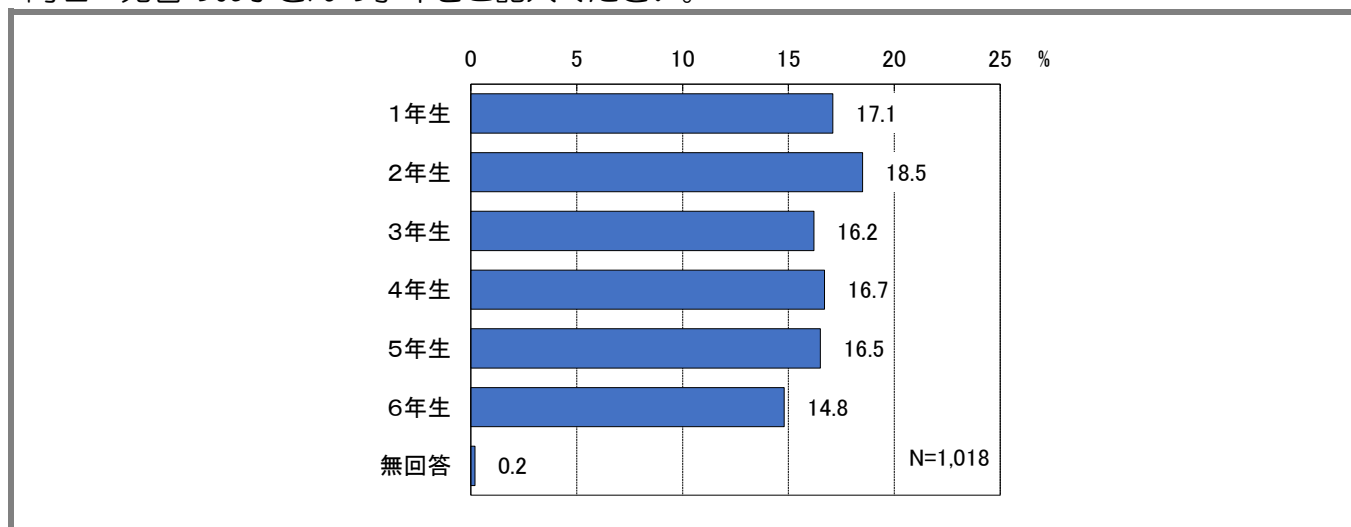
1. 家族の状況等について

問1 あなたのお住まいの地域は次のうちどちらですか。（1つだけ○）



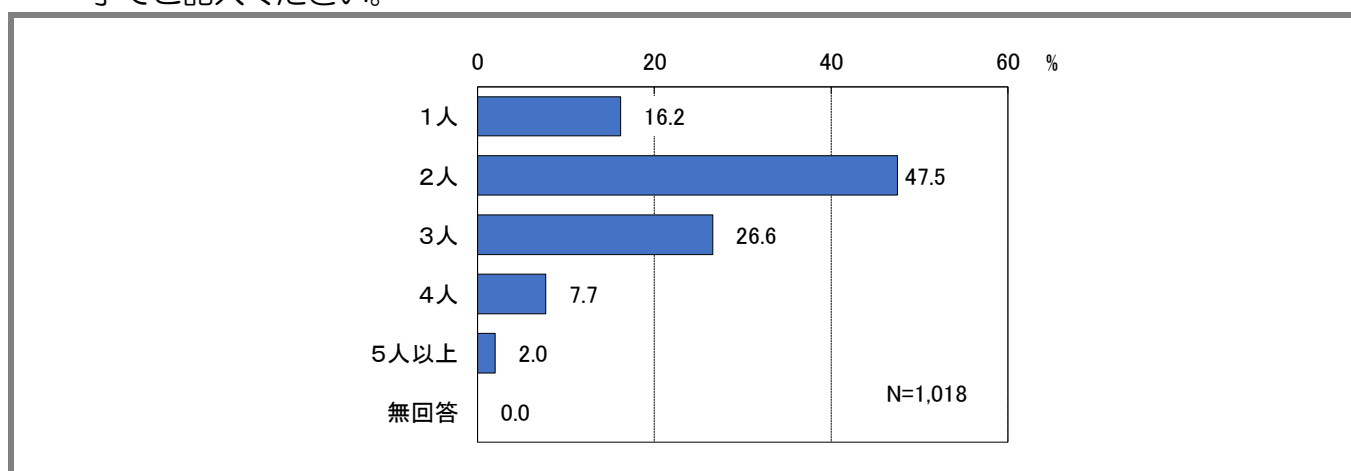
- 居住地域については、「小郡」と回答した人の割合が14.9%と最も高く、ほぼ子どもの人口分布を反映した結果となっている。

問2 宛名のお子さんの学年をご記入ください。



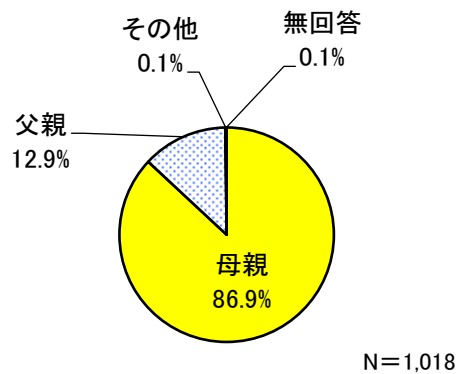
- 子どもの学年比率は上のとおりで、2年生の割合がやや高くなっている。

問3 宛名のお子さんは何人きょうだいですか。宛名のお子さんを含めた人数を（ ）内に数字でご記入ください。



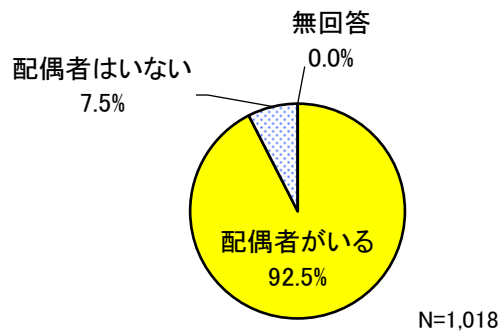
- 対象児童を含むきょうだいの人数では、「2人」という回答割合が47.5%と最も高く、次いで、「3人」が26.6%、「1人」が16.2%となっている。

問4 このアンケートにご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。（1つだけ○）



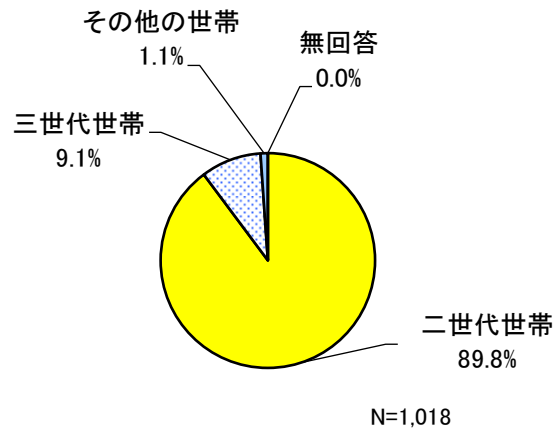
- 回答者は「母親」が86.9%と圧倒的に多く、「父親」は12.9%となっている。

問5 このアンケートにご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。



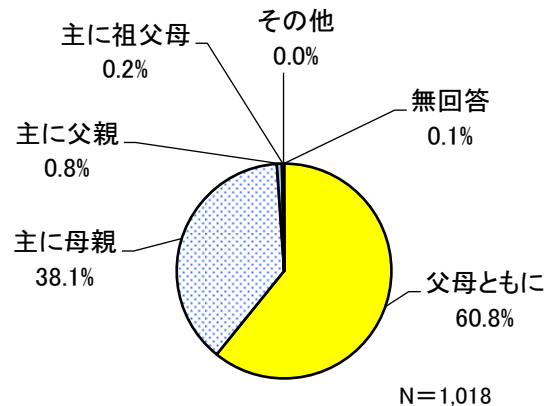
- 回答者の配偶関係を見ると、「配偶者はいない」と回答した人は7.5%となっている。

問6 家族構成をお答えください。（1つだけ○）



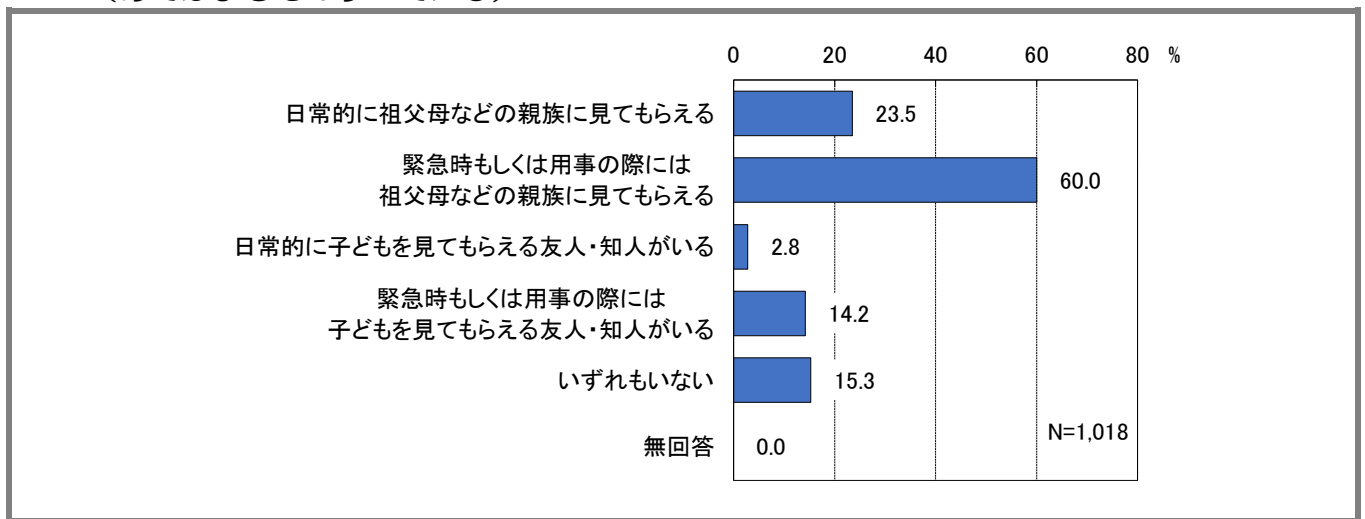
- 回答者の家族構成を見ると、「二世代世帯（子どもと親）」が89.8%と最も多く、「三世代世帯（子どもと親と祖父母）」は9.1%となっている。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。宛名のお子さんから見た関係でお答えください。（1つだけ○）



- 子どもの子育てについては、「父母ともに」行っていると回答した割合が60.8%、「主に母親」が行っていると回答した割合が38.1%となっている。

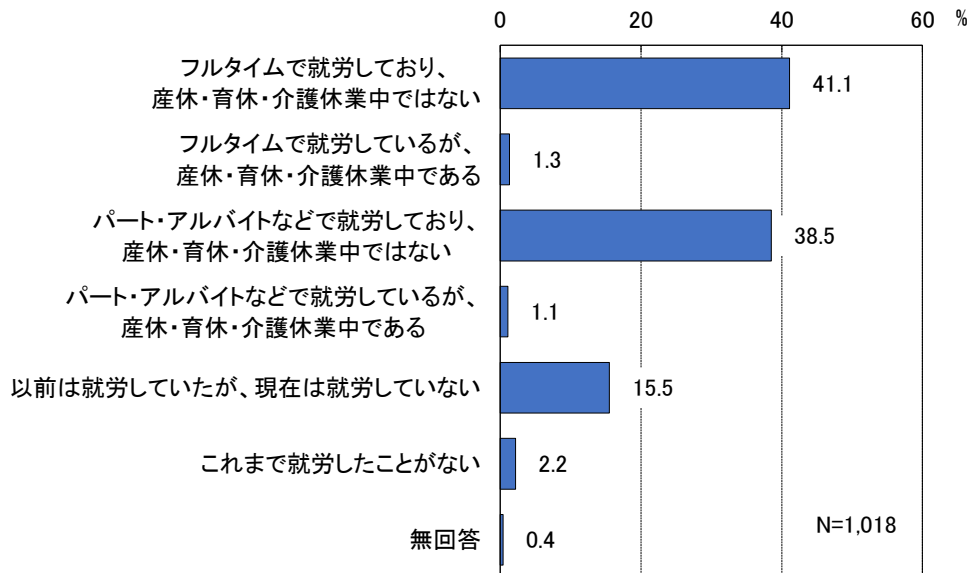
問8 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。
（あてはまるものすべてに○）



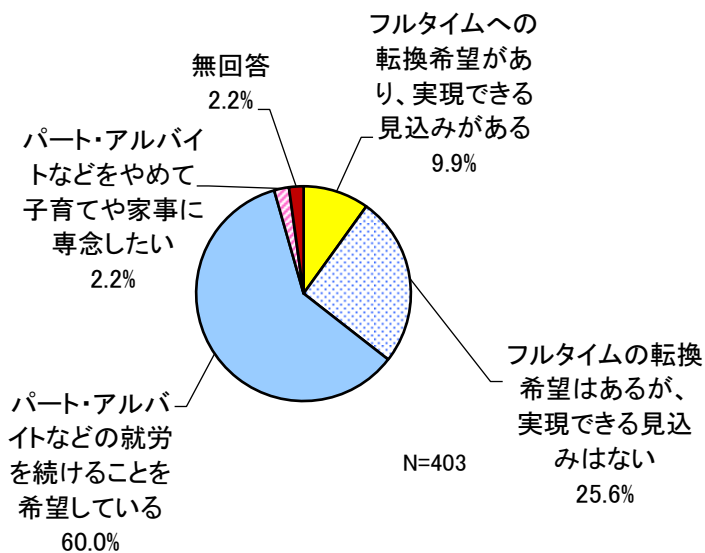
● 緊急時や用事の際にも子どもを預かってもらえる人がいない人の割合は 15.3%となっている。

2. 保護者の就労状況について

問9 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。
母親

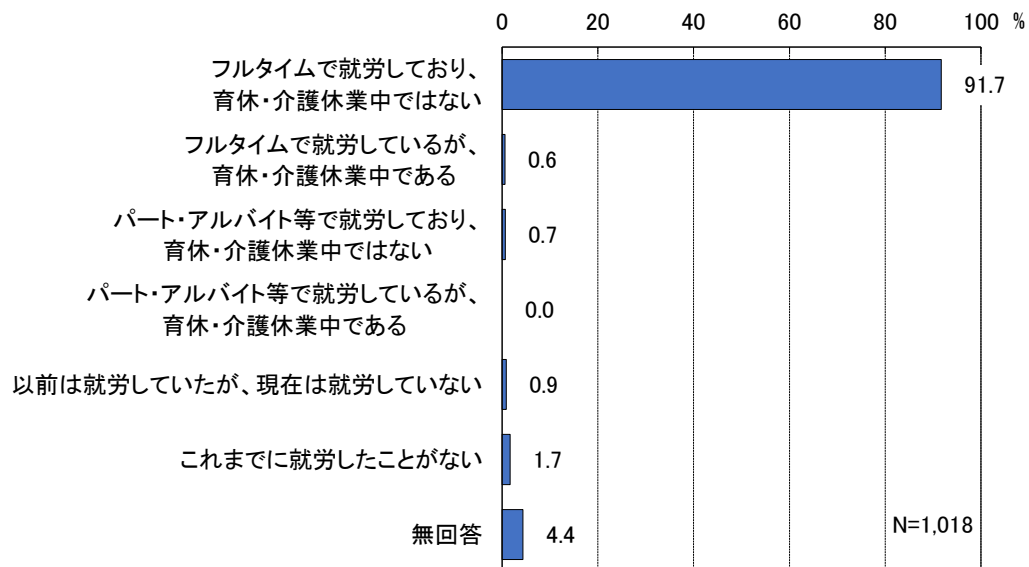


【パート・アルバイトなどの方のフルタイムへの転換希望】

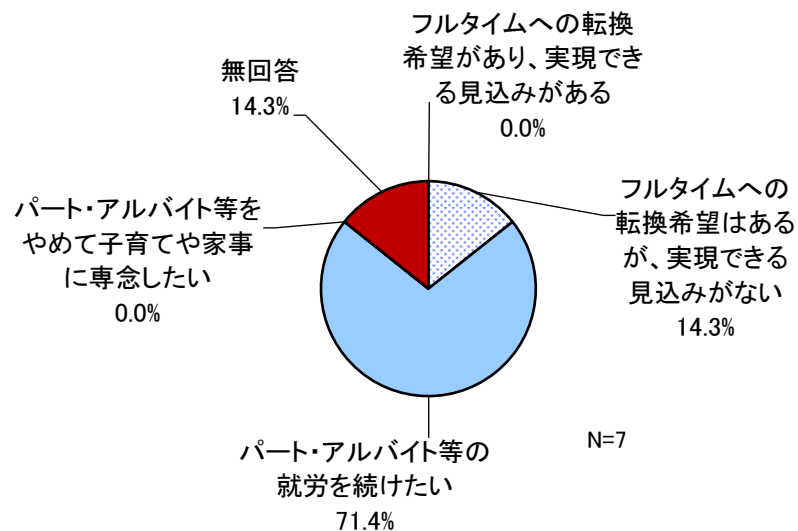


- 母親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、産休・育休・介護休業中の人も含めて 42.4%、パート・アルバイトなどが 39.6%となっている。
- パートタイム、アルバイトなどで就労していると回答した人のうち、フルタイムへの転換希望がある人は 35.5%となっている。

父親



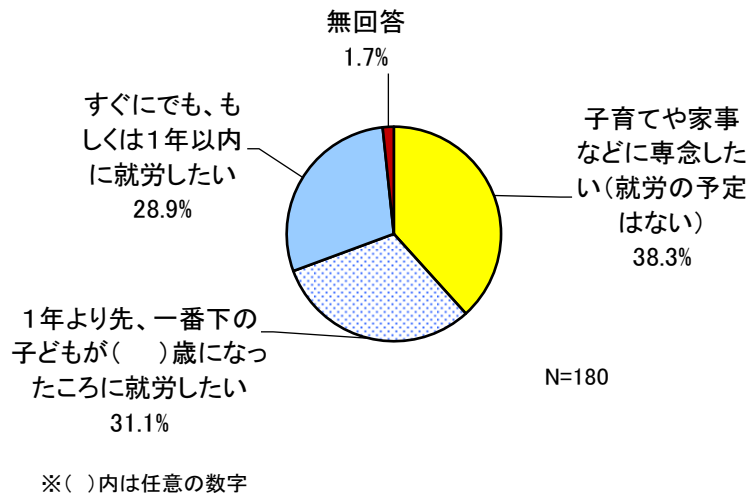
【パート・アルバイトなどの方のフルタイムへの転換希望】



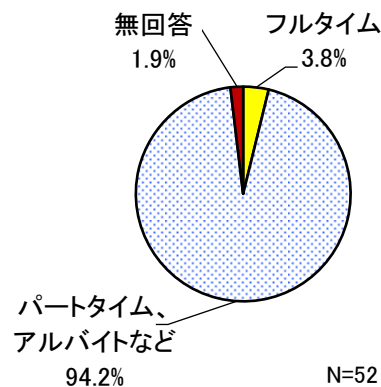
- 父親の就労状況については、フルタイムで就労していると回答した人が、育休・介護休業中の人も含めて 92.3% となっており、無回答を除く実際の回答者の大半を占めている。
- パートタイム、アルバイトなどで就労していると回答した人（7人）のうち、フルタイムへの転換希望がある人は 14.3%（1人）となっている。

母親

【非就労者の就労意向】



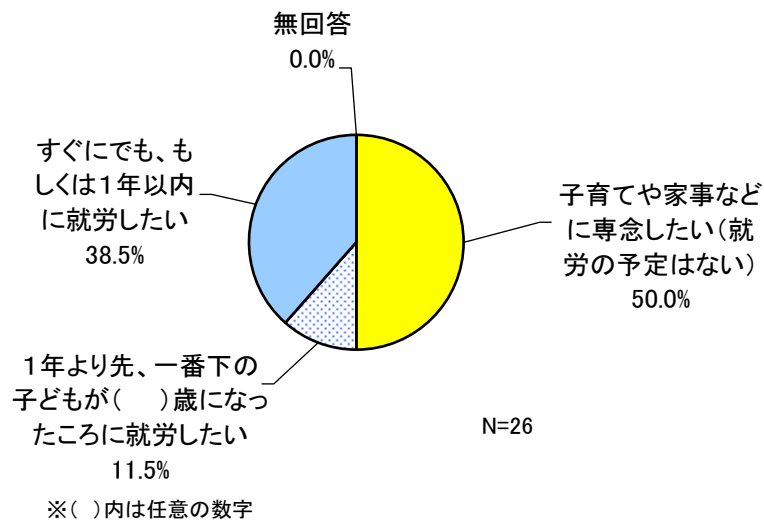
【希望する就労形態】



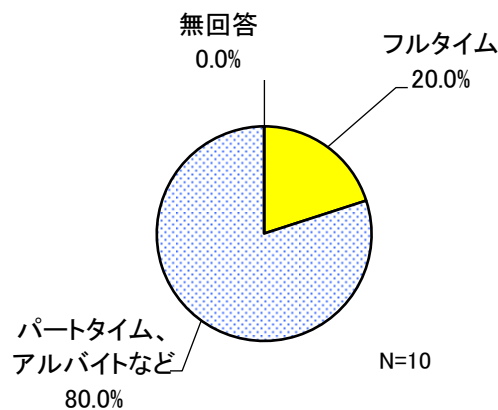
- 現在就労していない母親の就労希望を尋ねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が28.9%、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人は31.1%となっており、就労していない母親の60.0%に就労希望があることがわかる。
- 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人に、希望の就労形態を尋ねたところ、「パートタイム、アルバイトなど」が94.2%と高い割合を占めており、「フルタイム」を希望する人の割合は3.8%となっている。

父親

【非就労者の就労意向】



【希望する就労形態】

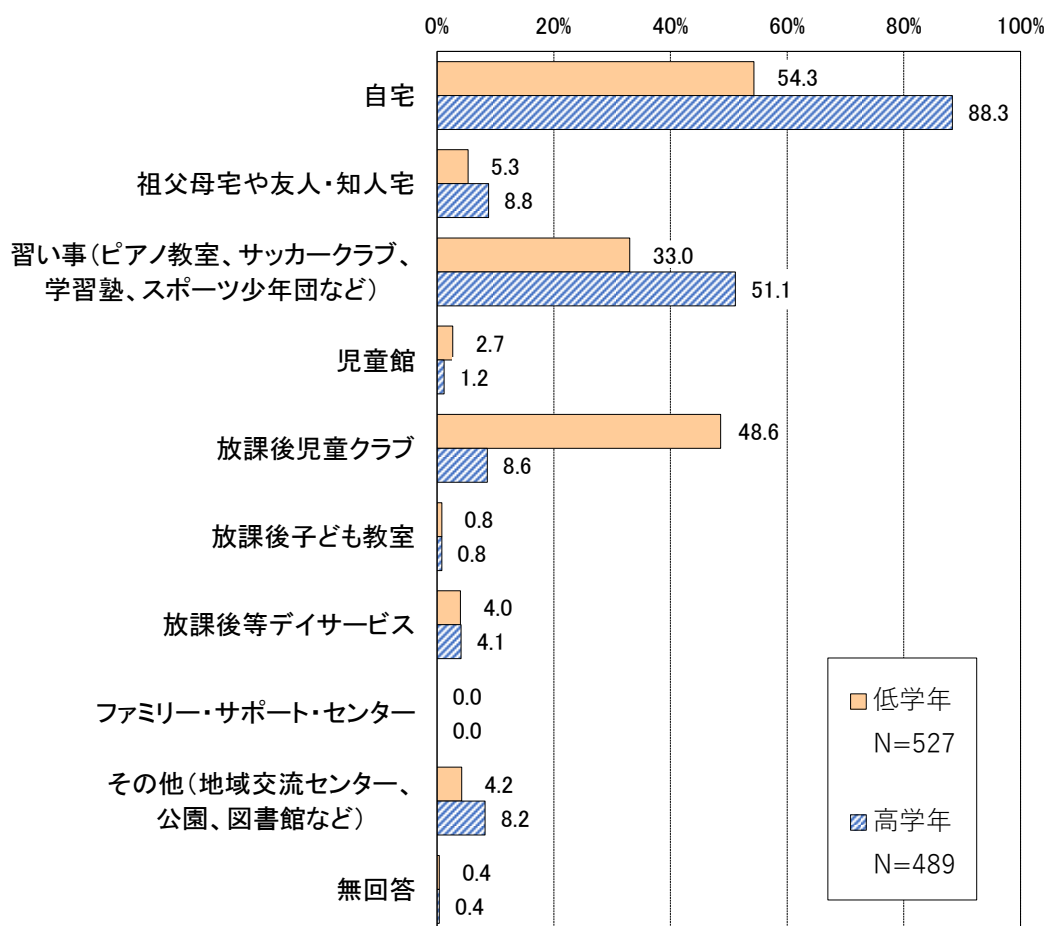


- 現在就労していない父親の就労希望を尋ねたところ、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人が38.5%、一番下の子どもがある程度大きくなったら就労したいと回答した人は11.5%となっており、就労していない父親の50.0%に就労希望があることがわかる。
- 「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した人（10人）に、希望の就労形態を尋ねたところ、「パートタイム、アルバイトなど」が80.0%（8人）、「フルタイム」が20.0%（2人）となっている。

3. 放課後の過ごし方について

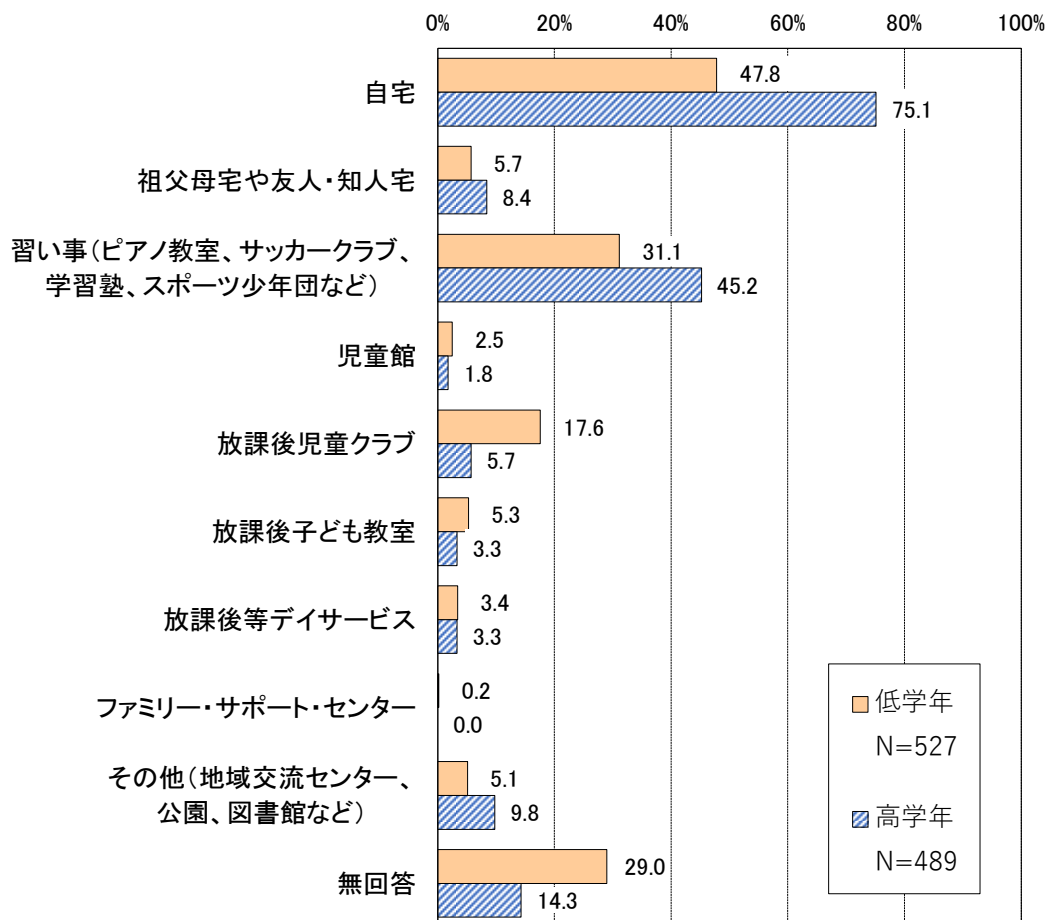
問10 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか（過ごさせたいと思いますか）。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

【現状】



- 放課後の過ごし方について、現在「放課後児童クラブ」を利用している人の割合は、小学校低学年で48.6%、高学年で8.6%となっている。

【希望】

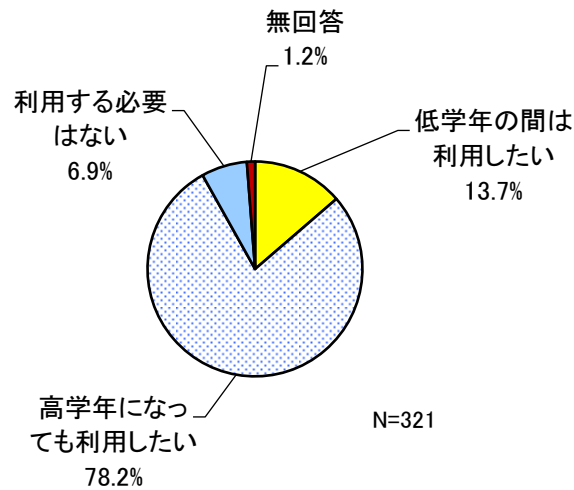


- 今後の「放課後児童クラブ」の希望については、小学校低学年で 17.6%、高学年で 5.7%となっている。
- ただし、現状に比べ「無回答」の割合が高くなっていることを踏まえると、現在、放課後児童クラブを利用している人の中には、希望の欄に回答しなかった人も一定数存在すると考えられる。そこで、現状と希望のいずれか、または両方で「放課後児童クラブ」に○をつけた人をカウントし、放課後児童クラブの最大ニーズ量を算出すると、小学校低学年で 50.7%、高学年で 10.6%となっている。

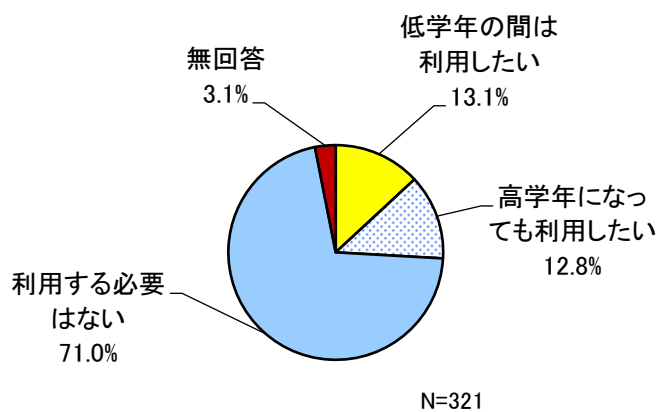
問11 問10で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブを利用したいですか。平日、土曜日、日曜日・祝日及び夏休み・冬休みなどの長期休暇中のそれぞれについて回答してください。

【平日】

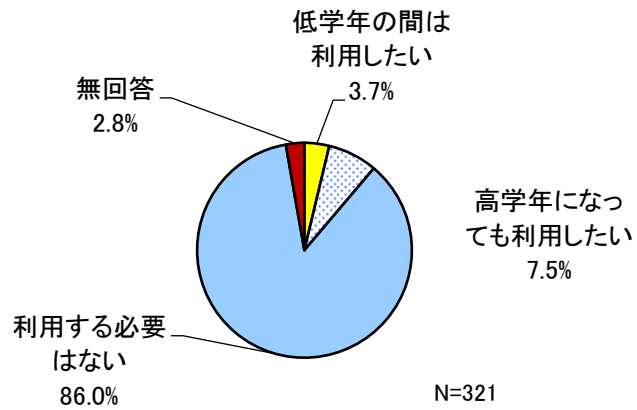


【土曜日】

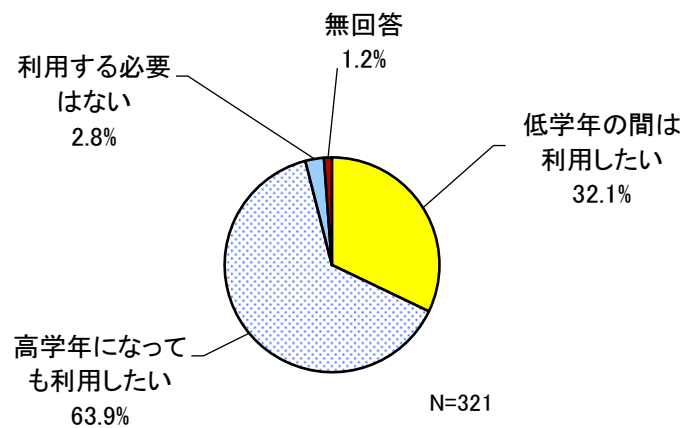


- 問10で「放課後児童クラブ」に○をつけた人に、改めて平日の利用意向を尋ねたところ、「低学年の間は利用したい」は13.7%、「高学年になっても利用したい」は78.2%となっている。
- 土曜日については、「低学年の間は利用したい」は13.1%、「高学年になっても利用したい」は12.8%となっている。

【日曜日・祝日】



【長期休暇中】



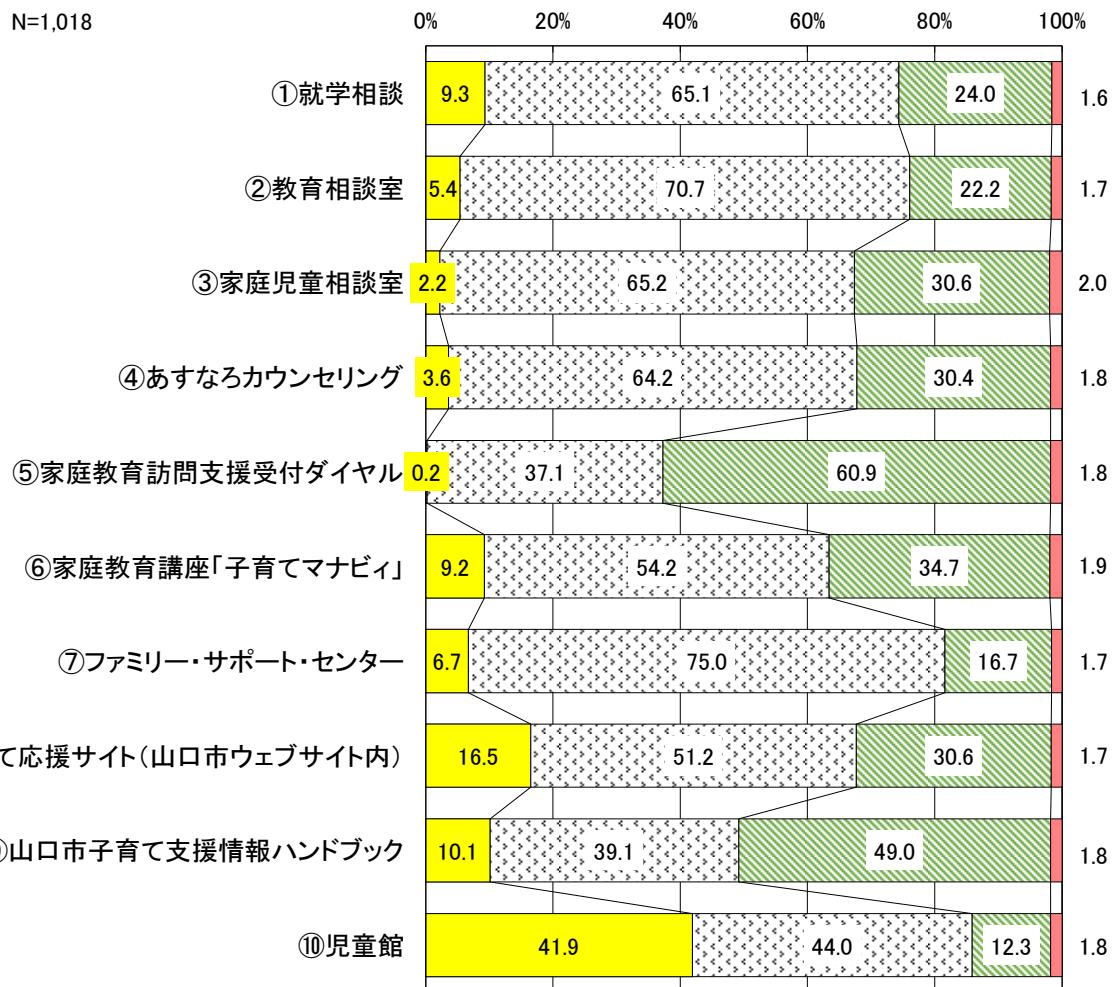
- 日曜日・祝日については、「低学年の間は利用したい」は3.7%、「高学年になっても利用したい」は7.5%となっている。
- 夏休み・冬休みなどの長期休暇中については、「低学年の間は利用したい」は32.1%、「高学年になっても利用したい」は63.9%となっている。

4. 子育て支援事業の利用状況について

問 12 下記の事業をこれまでに利用したことはありますか。また、今後利用したいと思いませんか。①～⑩の事業について、「認知度・利用状況」、「今後の利用意向」ごとにあてはまる番号に○をつけてください。

【認知度・利用状況】

■ 利用したことがある □ 知っているが、利用したことがない ▨ 知らない ■ 無回答

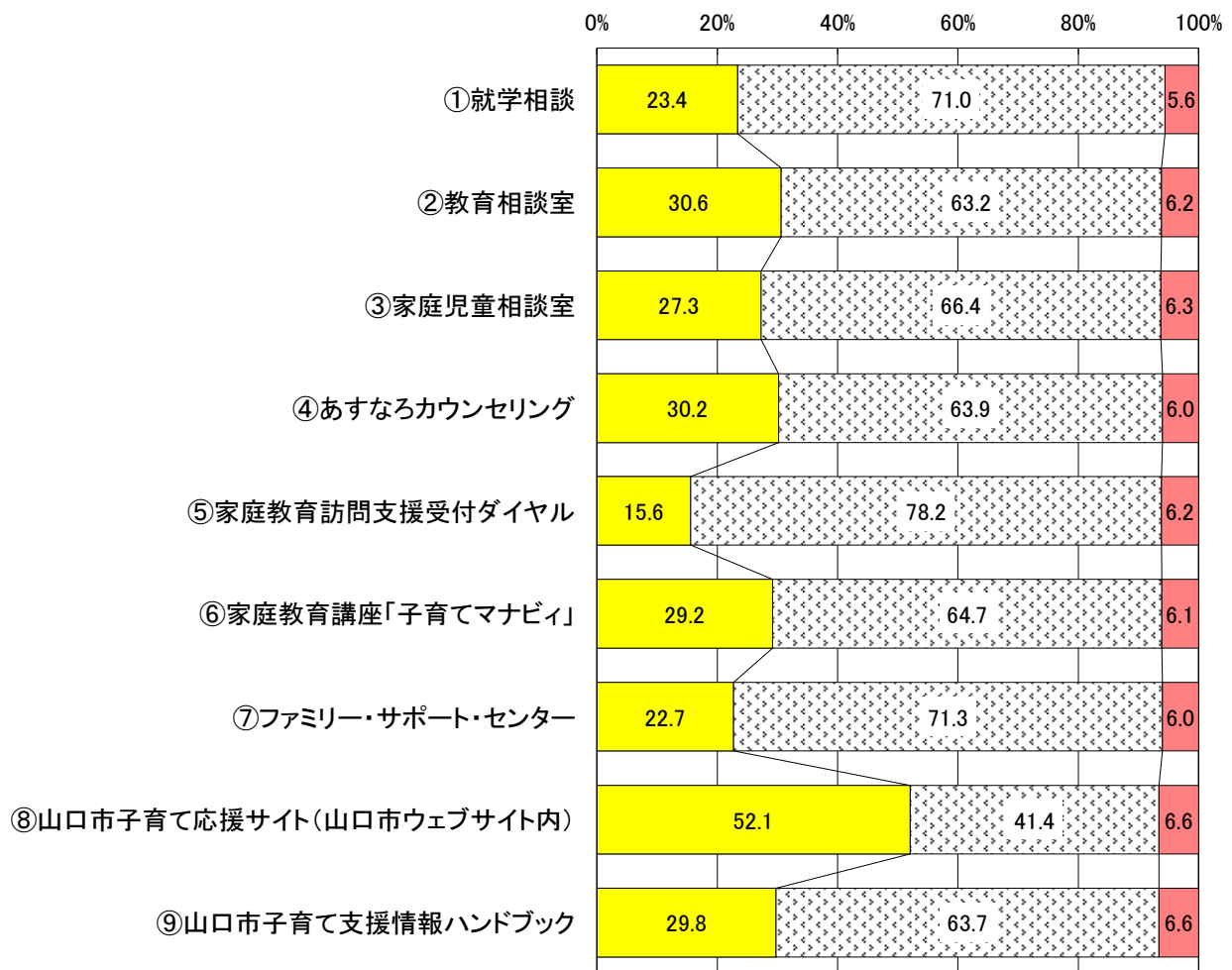


- 10 事業のうち、「利用したことがある」と回答した人の割合が最も高かったのは、「児童館」(41.9%)で、「山口市子育て応援サイト(山口市ウェブサイト内)」(16.5%)がそれに続いている。
- 「知らない」と回答した人の割合が最も高かったのは、「家庭教育訪問支援受付ダイヤル」(60.9%)で、「山口市子育て支援情報ハンドブック」(49.0%)がそれに続いている。

【今後の利用意向】

N=1,018

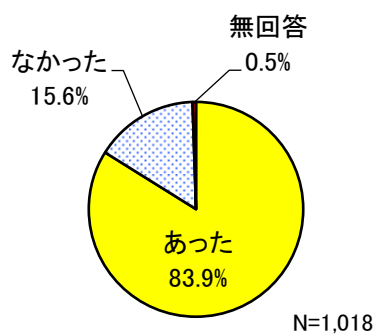
■ 利用したい □ 利用しない ■ 無回答



- 今後の利用意向が最も高かったのは「山口市子育て応援サイト（山口市ウェブサイト内）」（52.1%）で、「教育相談室」（30.6%）や「あすなろカウンセリング」（30.2%）がそれに続いている。

5. 子どもの病気等の際の対応について

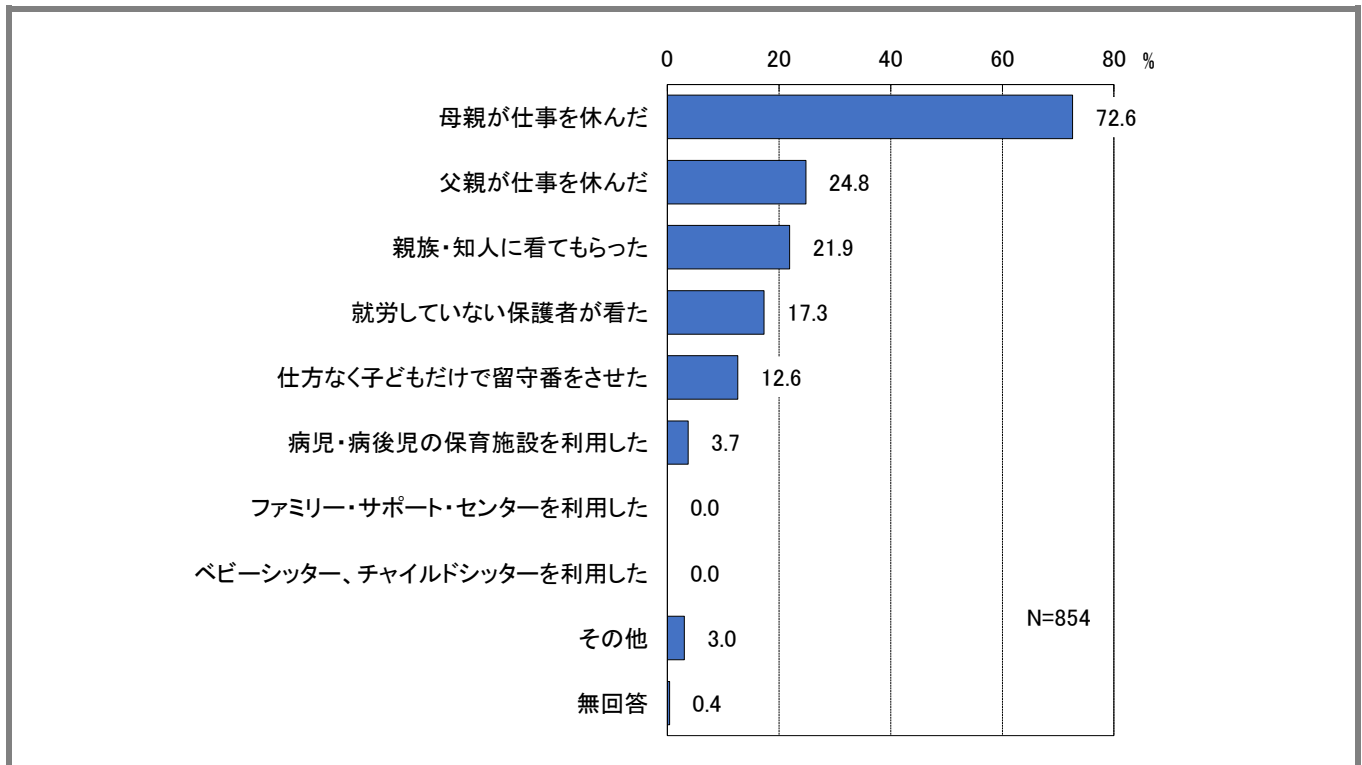
問 13 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありましたか。



- この1年間に、対象の子どもが病気やケガで学校を休まなければならなかったことが「あった」と回答した人は83.9%となっている。

問 13-1 問 13 で「1. あった」と回答した方にうかがいます。

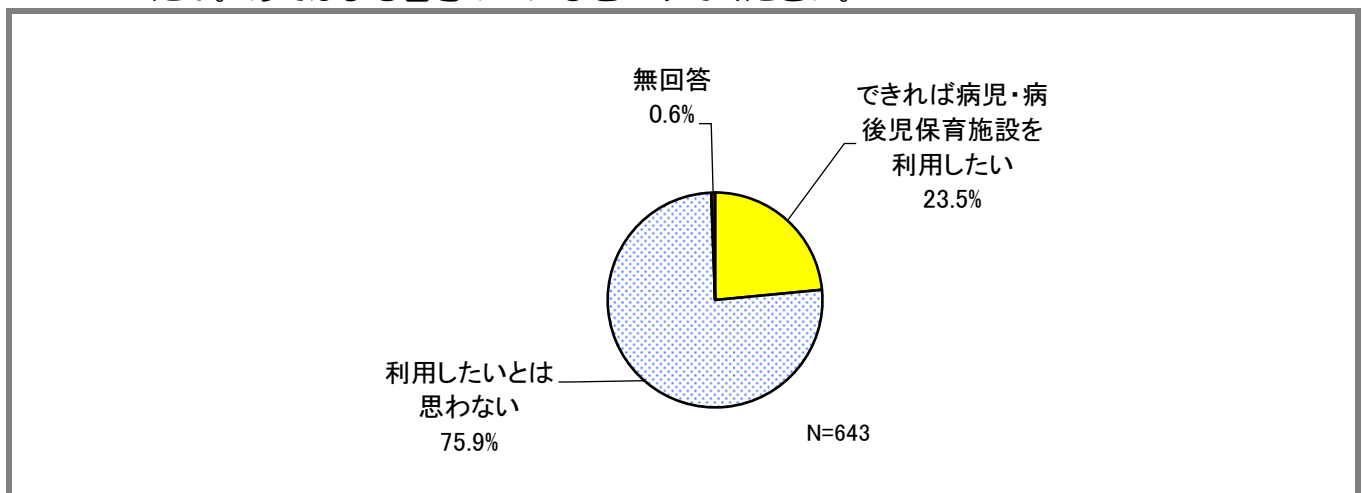
宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。



- 子どもが病気やケガで学校を休んだ場合の対処方法をたずねたところ、「母親が仕事を休んだ」という回答が72.6%と最も多く、「父親が仕事を休んだ」が24.8%でそれに続いている。

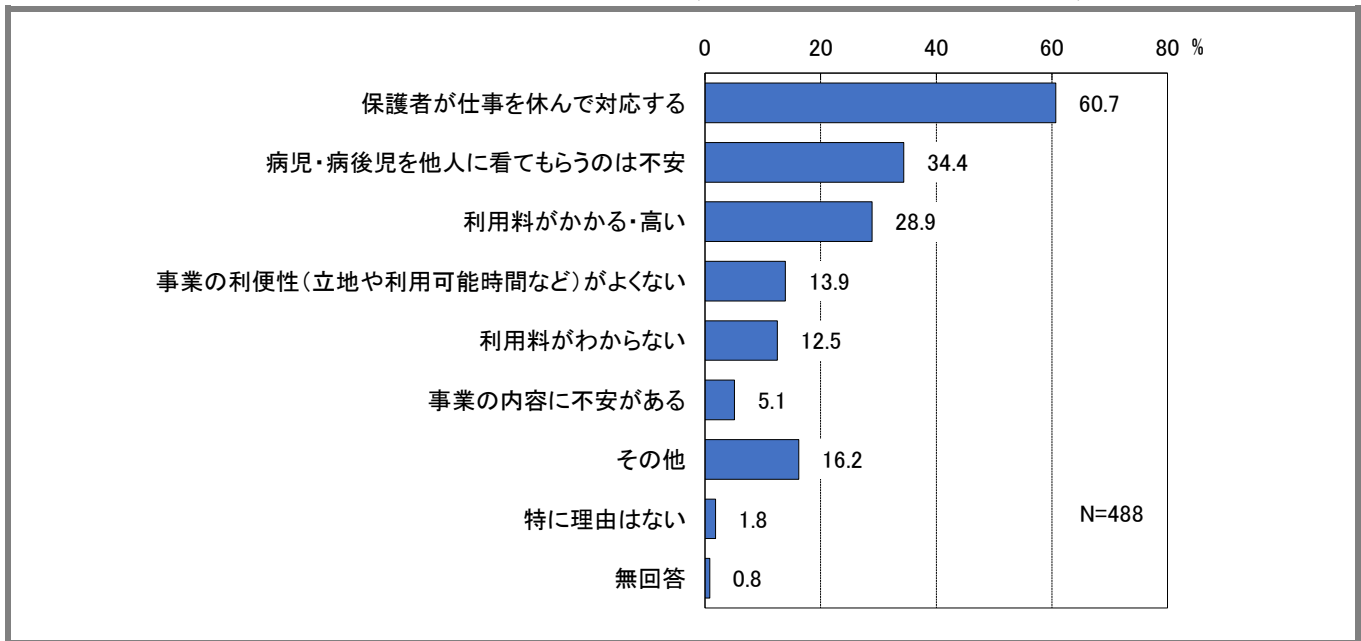
問 13-2 問 13-1 で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

その際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思われたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。



- 両親のいずれかが仕事を休んだと回答した人のうち、「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った人の割合は23.5%となっている。

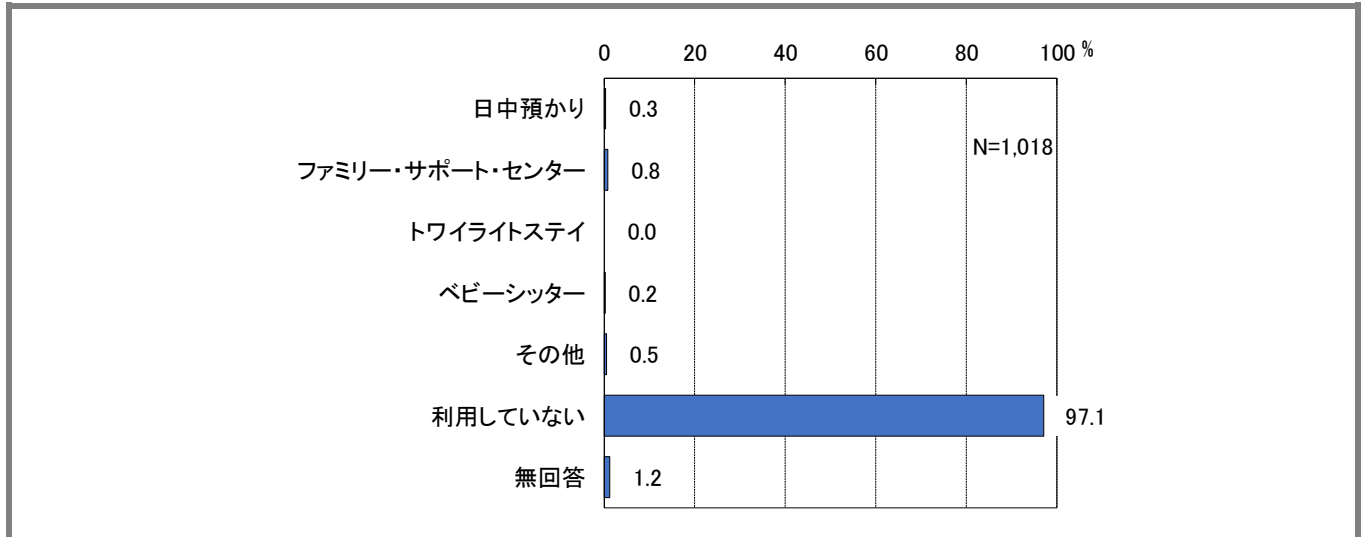
問13-3 問13-2で「利用したいとは思わない」に回答した方にうかがいます。
「利用したいとは思わない」理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 病児・病後児のための保育施設などを「利用したいとは思わない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「保護者が仕事を休んで対応する」という回答が60.7%と最も多く、以下、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が34.4%、「利用料がかかる・高い」が28.9%と続いている。
- 「その他」の内容としては、「子どもが行きたがらない」「子どもがかわいそうだから」「他の病気がうつりそうだから」「すぐには見てもらえず手続に時間がかかるため」などがあがっている。

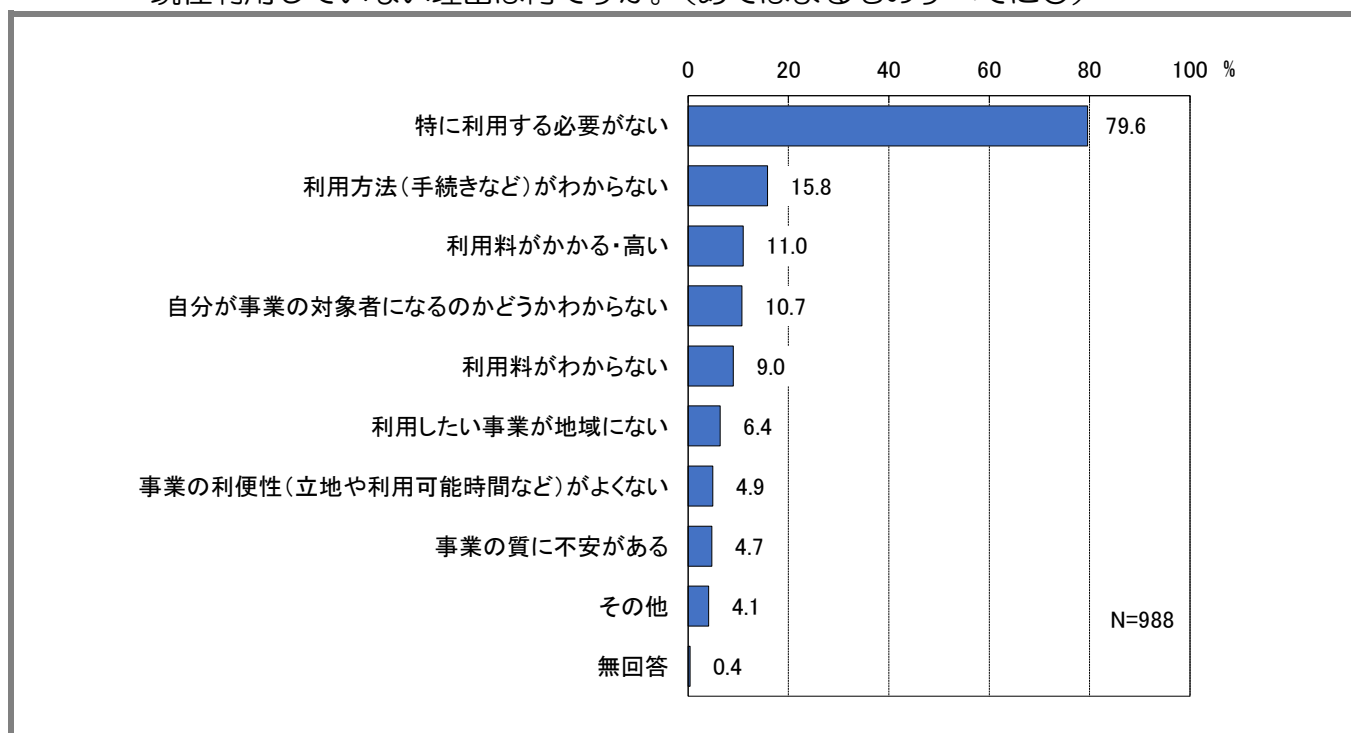
6. 不定期の教育・保育事業や一時預かりなどの利用について

問 14 宛名のお子さんについて、現在、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、保護者の通院、不定期の就労などの目的で不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。



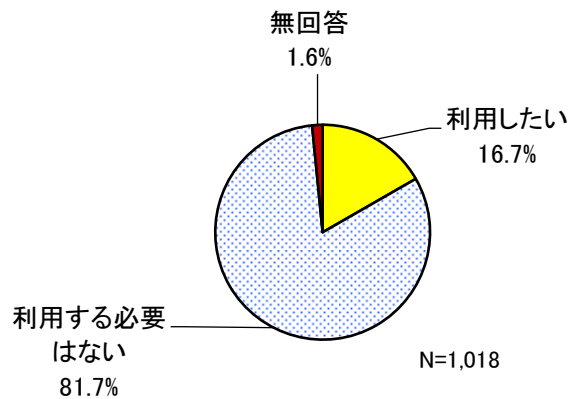
- 私用や保護者の通院、不定期の就労などのため、不定期に利用している事業があるか尋ねたところ、「利用していない」と回答した人は 97.1%で、何らかの事業を利用している人は 1.7%となっている。

問 14-1 問 14 で「6. 利用していない」と回答した方にうかがいます。
現在利用していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

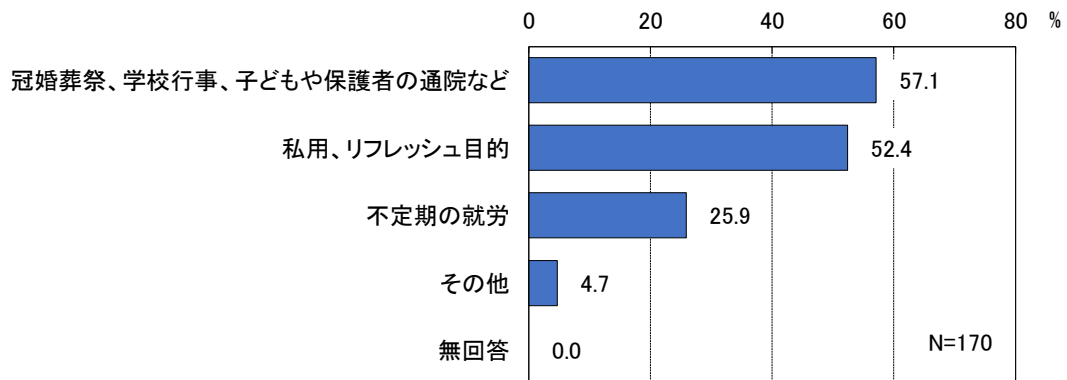


- 「利用していない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「特に利用する必要がない」と回答した人が 79.6%と大半を占めているが、それ以外の理由としては「利用方法（手続きなど）がわからない」（15.8%）や「利用料がかかる・高い」（11.0%）、「自分が事業の対象者になるのかわからない」（10.7%）が上位にあがっている。

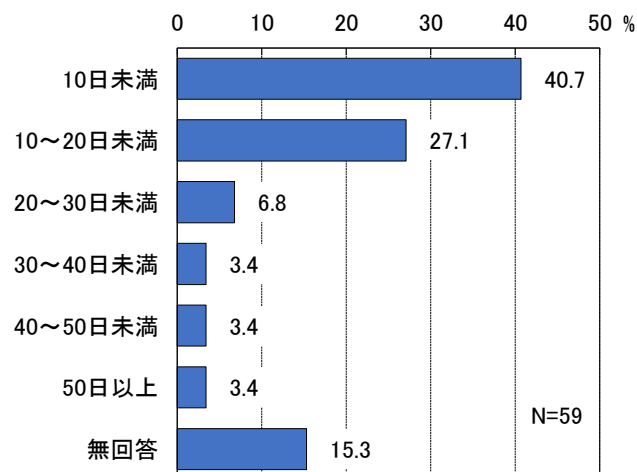
問 15 すべての方にうかがいます。今後、宛名のお子さんについて、私用（冠婚葬祭、リフレッシュなど）、保護者の通院、不定期の就労などの目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。あてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。



【目的の内訳】

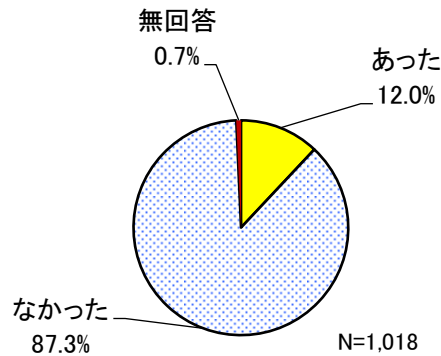


【年間必要日数】

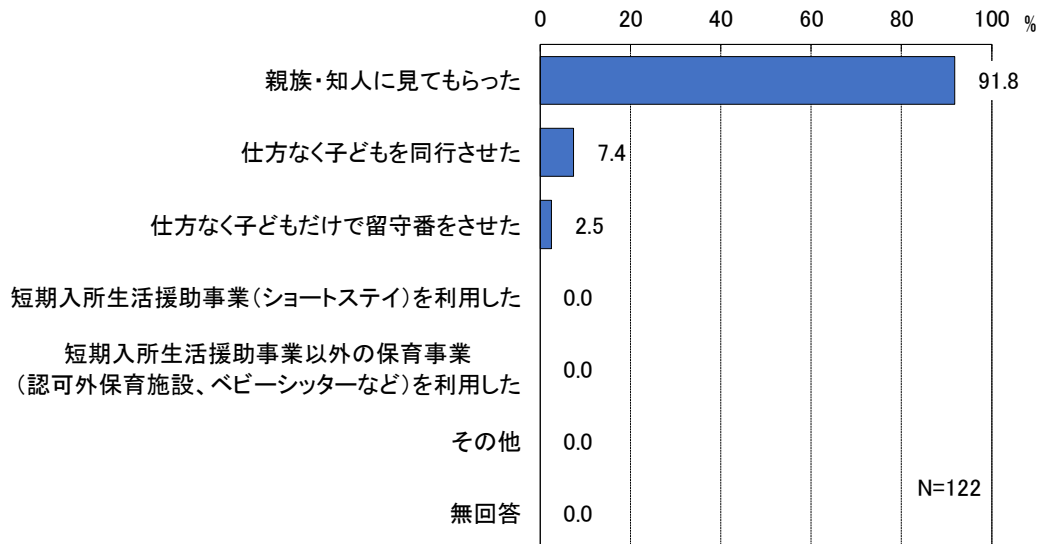


- 私用や保護者の通院、不定期の就労などのため、一時預かりなどの事業を「利用したい」と回答した人の割合は16.7%となっている。
- 目的としては、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや保護者の通院など」(57.1%)や「私用、リフレッシュ目的」(52.4%)が多く、年間必要日数は「10日未満」(40.7%)が多くなっている。

問 16 すべての方にうかがいます。この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外に見てもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけてください。



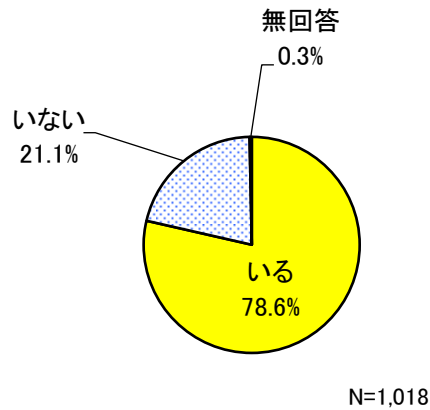
【対処方法の内訳】



- この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊まりがけで家族以外に見てもらわなければならないことが「あった」と回答した人の割合は12.0%となっている。
- 対処方法の内訳としては、「親族・知人に見てもらった」が91.8%と大半を占めており、「仕方なく子どもを同行させた」が7.4%でそれに続いている

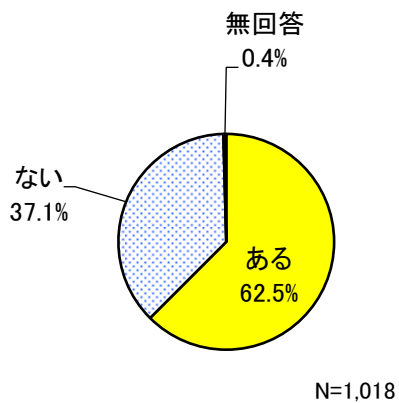
7. 子どもの遊びや地域活動について

問 17 近所にお子さんの遊び相手がありますか。（1つだけ○）



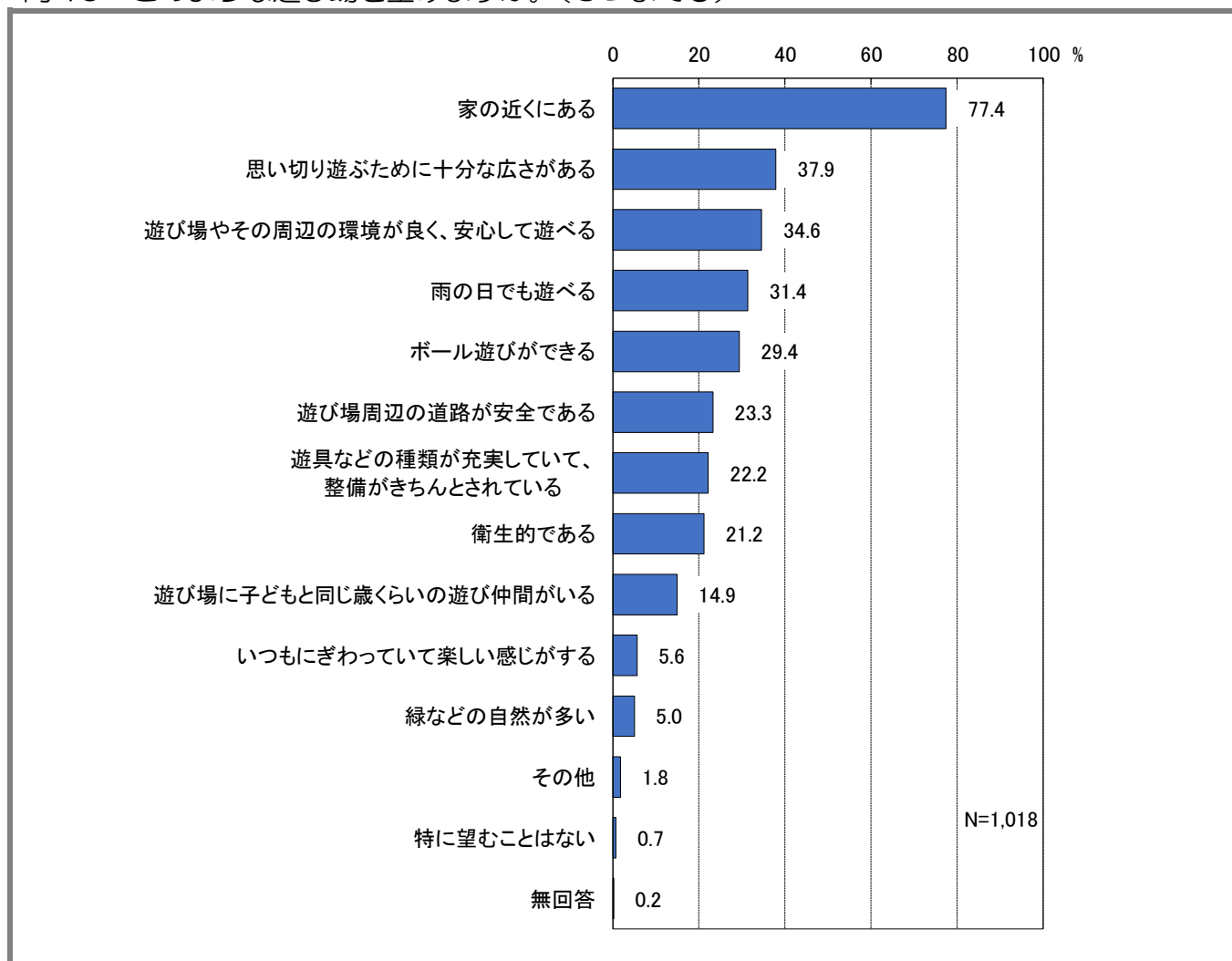
- 近所に対象児童の遊び相手が「いる」と回答した人の割合は78.6%、「いない」と回答した人の割合は21.1%となっている。

問 18 近くに安心して遊べる場所がありますか。（1つだけ○）



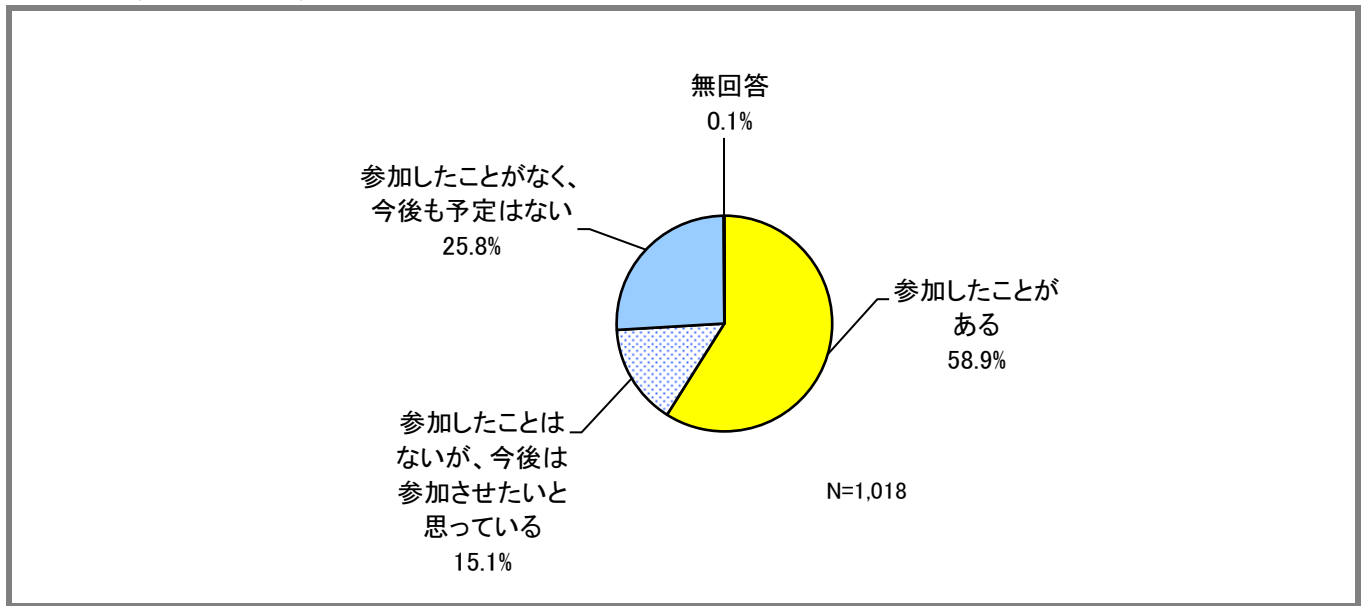
- 近くに安心して遊べる場所が「ある」と回答した人の割合は62.5%、「ない」と回答した人の割合は37.1%となっている。

問19 どのような遊び場を望みますか。（3つまで○）



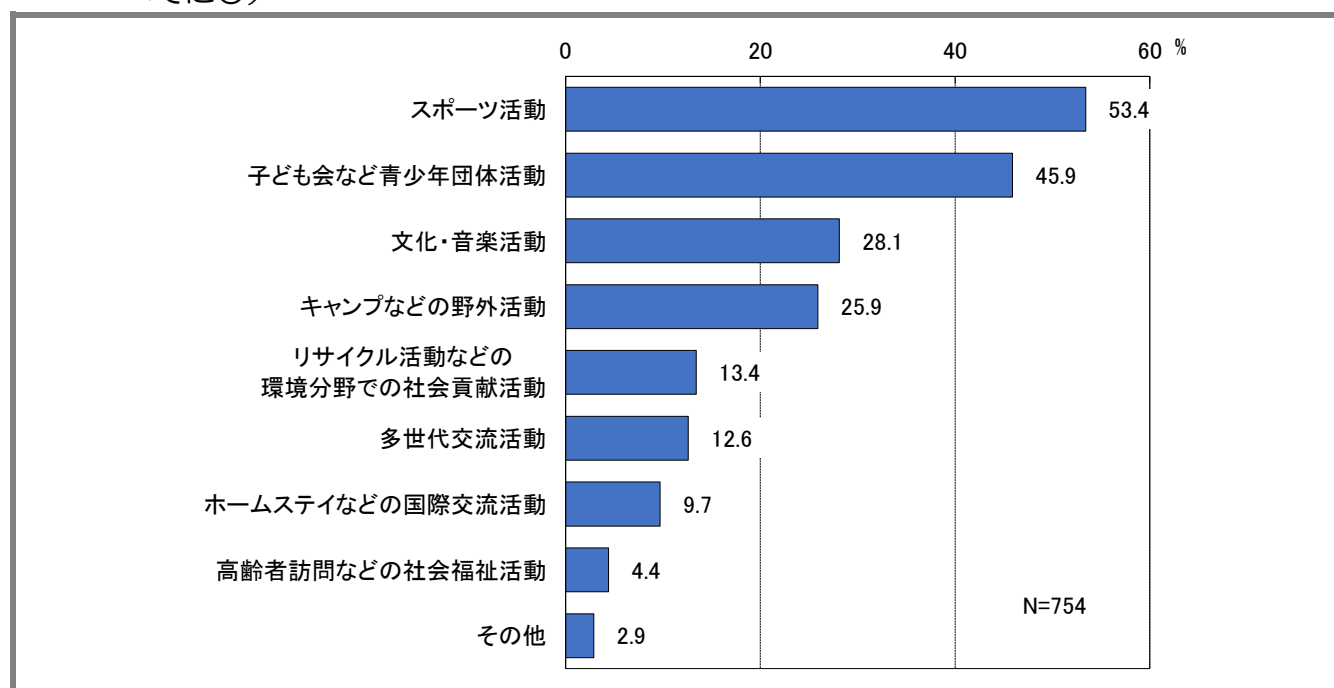
- どのような遊び場を望むか尋ねたところ、「家の近くにある」が 77.4%と最も多く、以下、「思い切り遊ぶために十分な広さがある」(37.9%)、「遊び場やその周辺の環境が良く、安心して遊べる」(34.6%)、「雨の日でも遊べる」(31.4%)、「ボール遊びができる」(29.4%)と続いている。

問20 あて名のお子さんは地域活動やグループ活動などに参加されたことがありますか。
（1つだけ○）



- 対象児童が地域活動やグループ活動などに「参加したことがある」と回答した人の割合は 58.9%、「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」と回答した人の割合は 15.1%となっている。

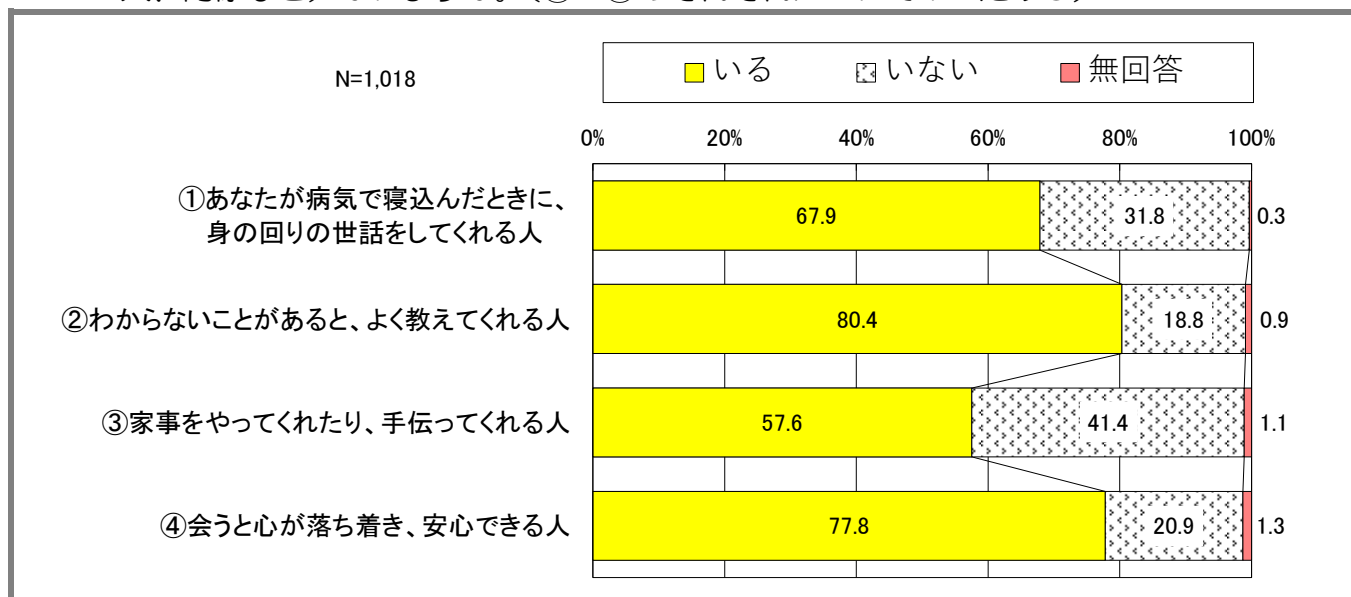
問21 問20で「1. 参加したことがある」または「2. 参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」に○をつけた方にうかがいます。お子さんが参加したことがある、または今後参加させたい地域活動やグループ活動の種類は何ですか。（あてはまるものすべてに○）



- 対象児童が地域活動やグループ活動などに「参加したことがある」または「参加したことはないが、今後は参加させたいと思っている」と回答した人に、その種類を尋ねたところ、「スポーツ活動」を選択した人の割合が53.4%と最も多く、以下、「子ども会など青少年団体活動」が45.9%、「文化・音楽活動」が28.1%、「キャンプなどの野外活動」が25.9%と続いている。

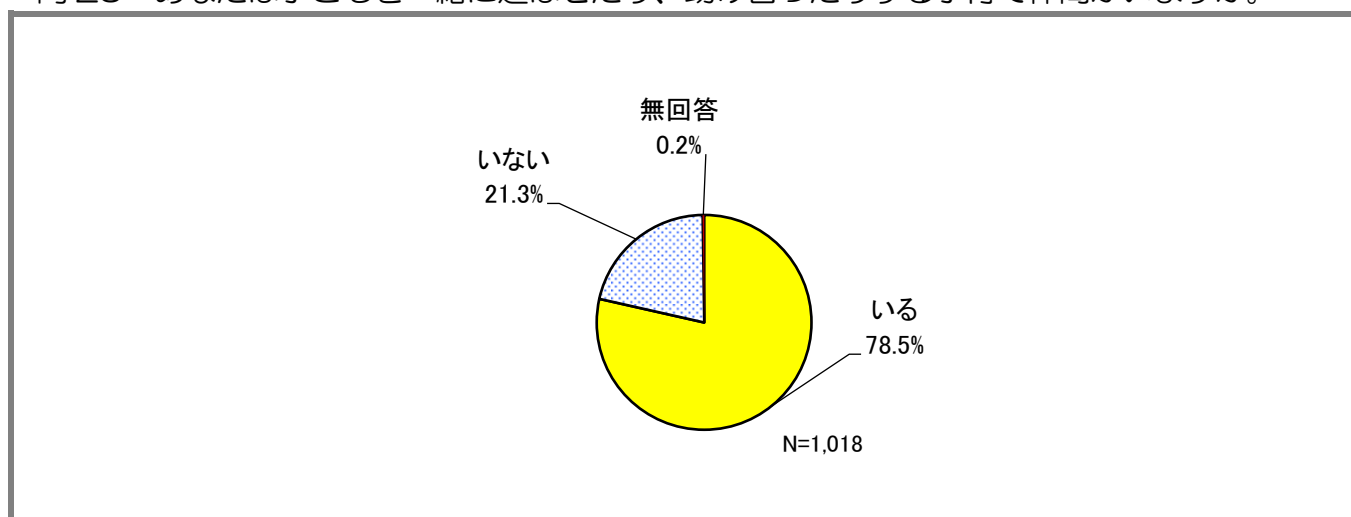
8. 子育て全般について

問 22 あなたのお住まいの近く（おおむね 30 分以内）に、①～④に該当する人（親族、友人、同僚など）がいますか。（①～④のそれぞれについて1つだけ○）



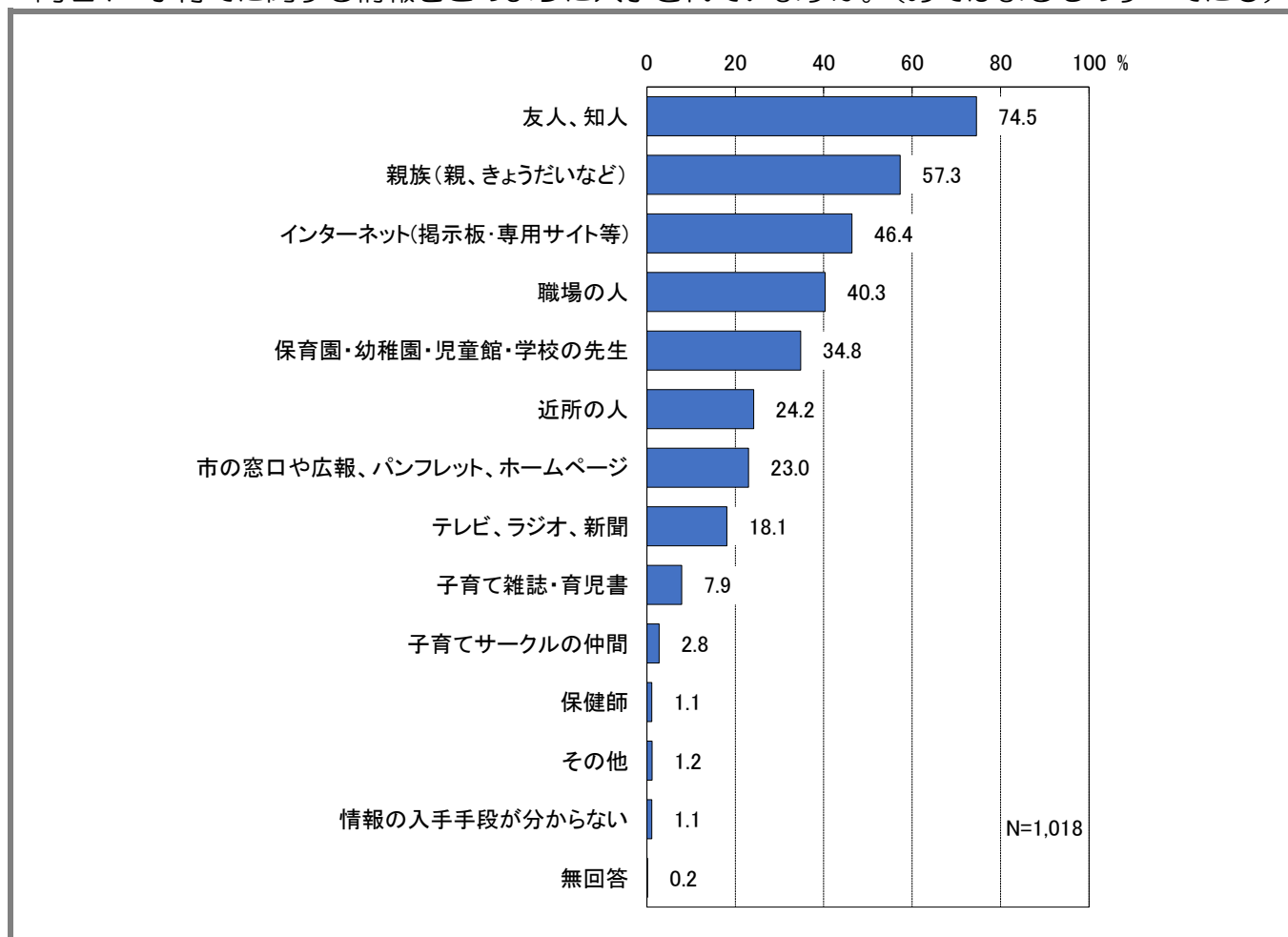
- 「あなたが病気で寝込んだときに、身の回りの世話をしてくれる人」が「いる」と回答した人は67.9%、「わからないことがあると、よく教えてくれる人」が「いる」と回答した人は80.4%、「家事をやってくれたり、手伝ってくれる人」が「いる」と回答した人は57.6%、「会うと心が落ち着き、安心できる人」が「いる」と回答した人は77.8%となっている。

問 23 あなたは子どもと一緒に遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間がいますか。



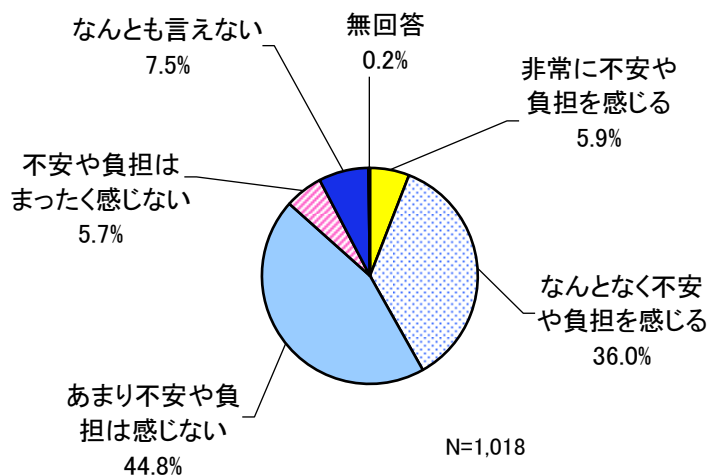
- 子どもと一緒に遊ばせたり、助け合ったりする子育て仲間が「いる」と回答した人の割合は78.5%、「いない」と回答した人の割合は21.3%となっている。

問24 子育てに関する情報をどのように入手されていますか。（あてはまるものすべてに○）



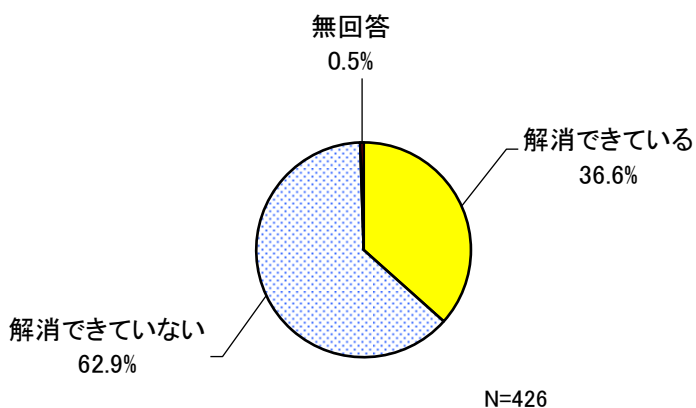
- 子育てに関する情報の入手先については、回答割合が高い順に「友人・知人」(74.5%)、「親族(親、きょうだいなど)」(57.3%)、「インターネット(掲示板・専用サイト等)」(46.4%)、「職場の人」(40.3%)、「保育園・幼稚園・児童館・学校の先生」(34.8%)と続いている。

問 25 子育てに関して不安や負担を感じますか。（1つだけ○）



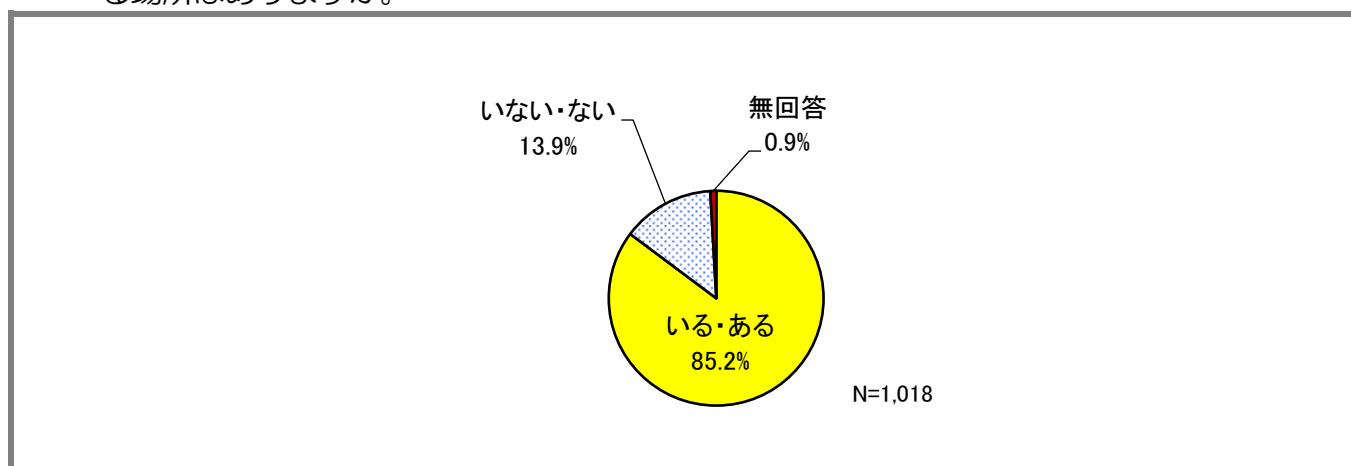
- 子育てに「非常に不安や負担を感じる」と回答した人の割合は 5.9%で、「なんとなく不安や負担を感じる」（36.0%）と回答した人を合わせると 41.9%となっている。

問 25-1 問 25 で「1. 非常に不安や負担を感じる」「2. なんとなく不安や負担を感じる」に○をつけた方にうかがいます。
その不安や負担は解消できていますか。



- 「不安や負担を感じる」と回答した人のうち、その不安や負担が「解消できている」と回答した人の割合は 36.6%で、「解消できていない」と回答した人の割合（62.9%）を 26.3 ポイント下回っている。

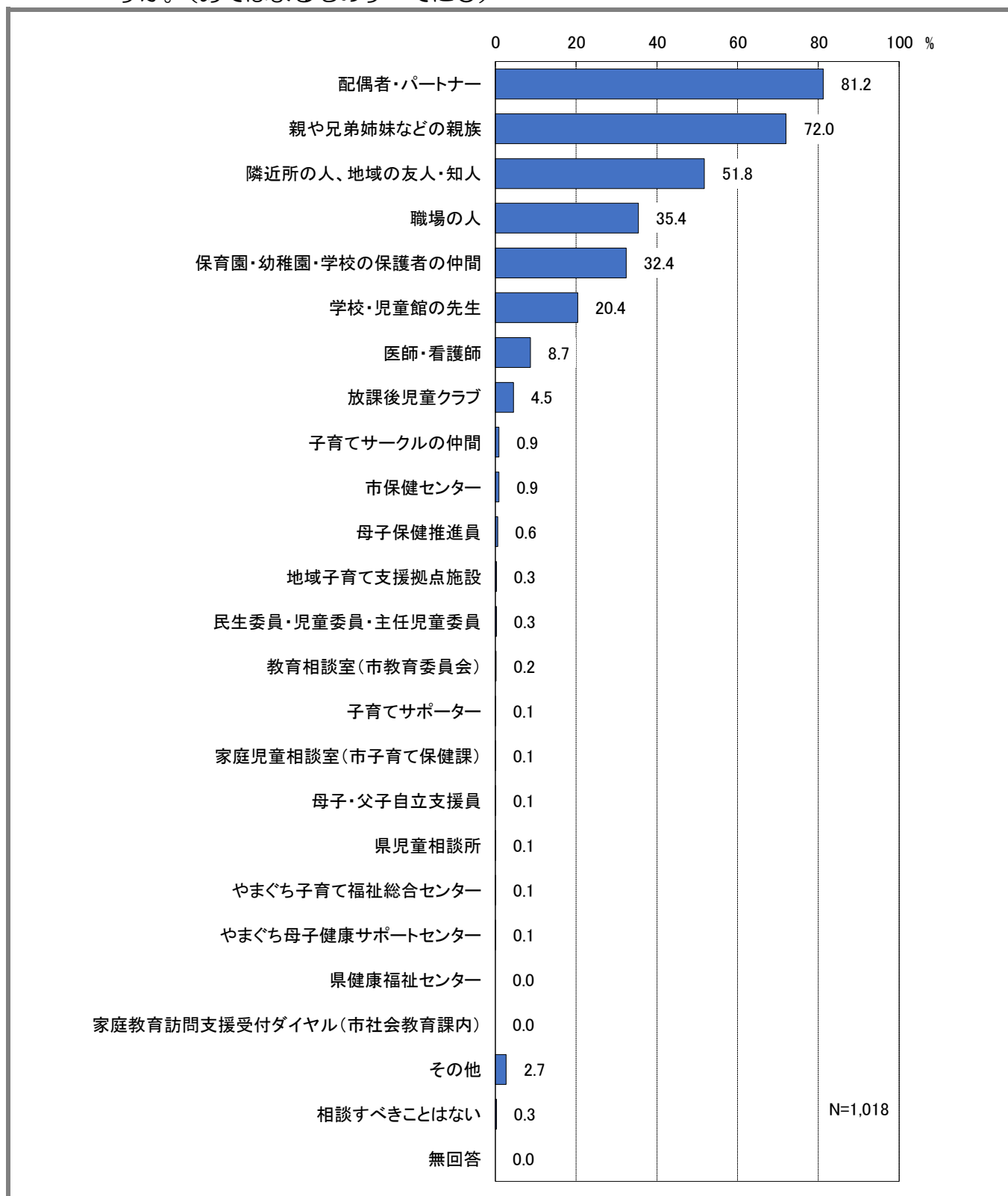
問 26 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人や相談できる場所がありますか。



- 子育てについて気軽に相談できる人や場所が「いない・ない」と回答した人の割合は 13.9%となっている。

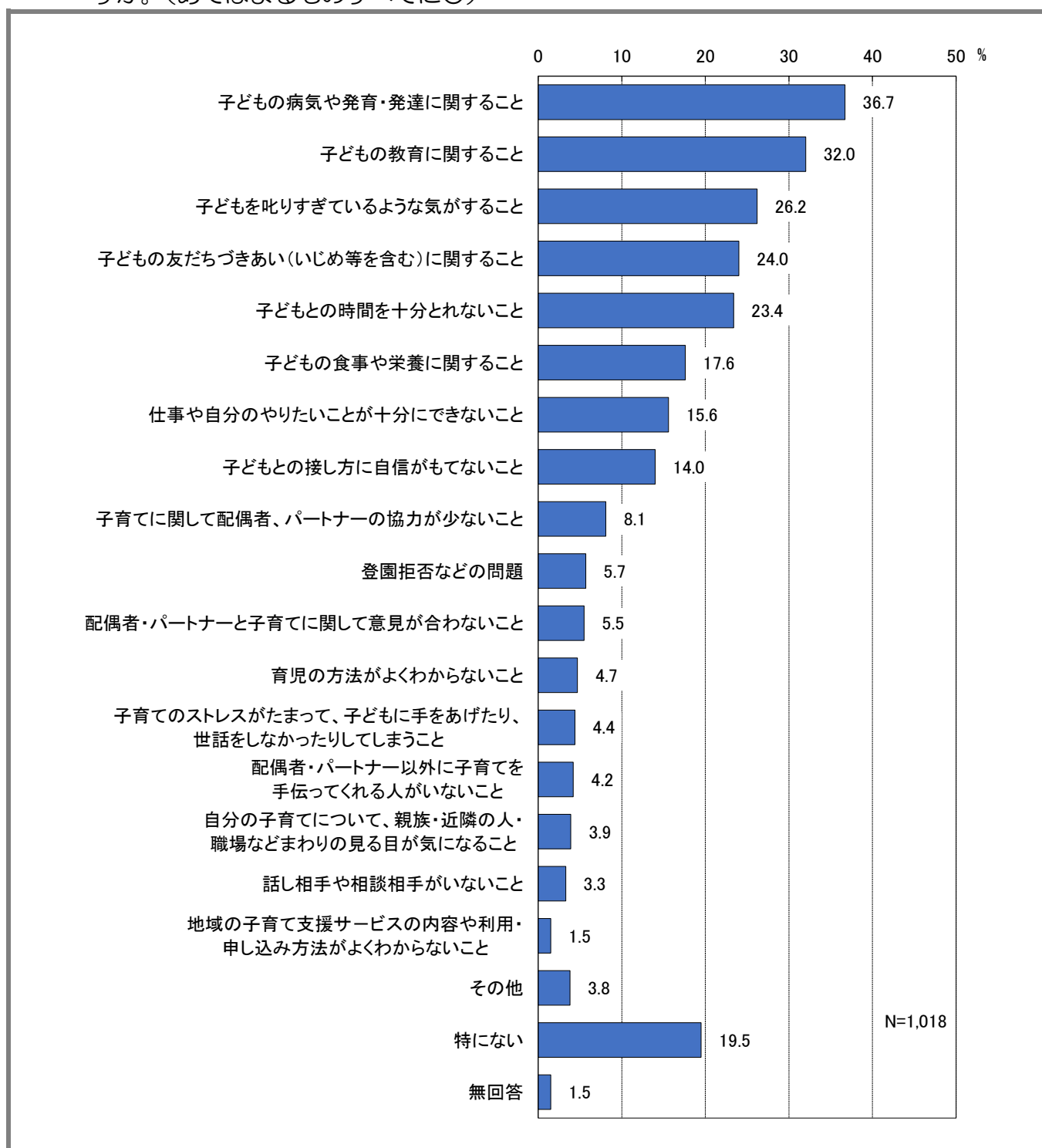
問26-1 問26で「1.いる・ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）



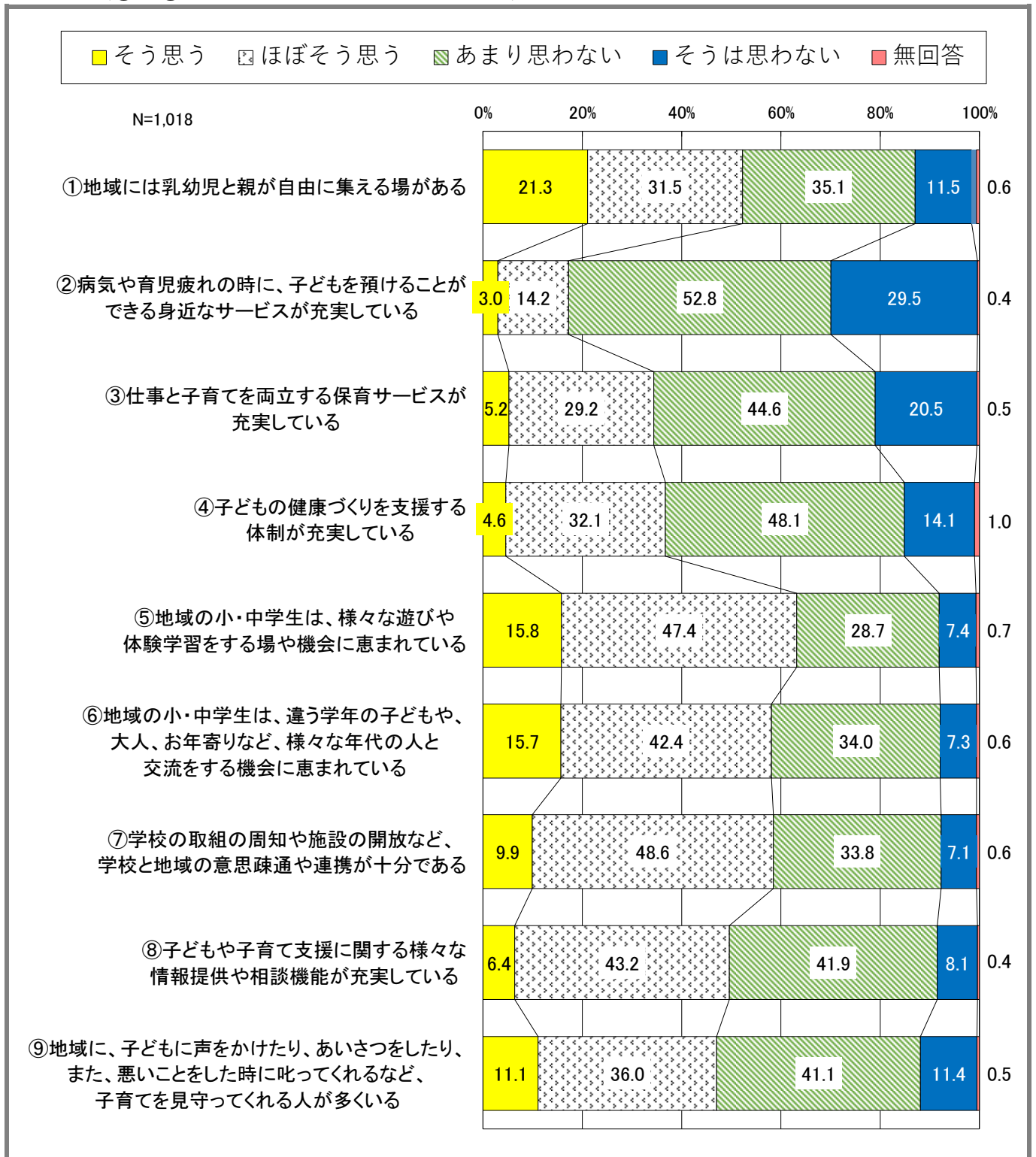
- 子育てに関する相談先については、「配偶者・パートナー」(81.2%)、「親や兄弟姉妹などの親族」(72.0%)、「隣近所の人、地域の友人・知人」(51.8%)が上位を占めている。

問27 子育てに関して、これまでに困ったことや、現在、悩んでいることはどのようなことですか。（あてはまるものすべてに○）



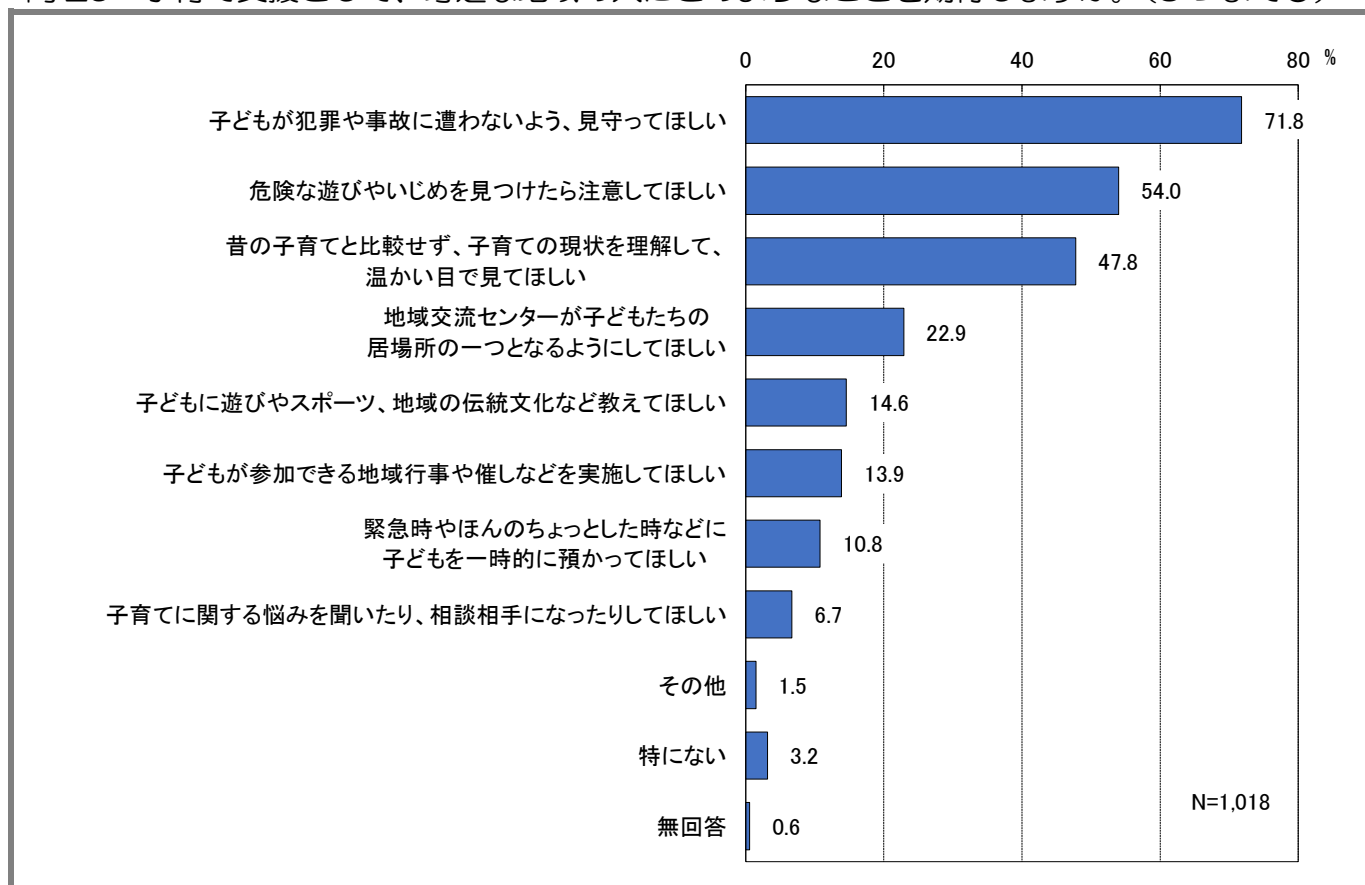
- 子育てに関して困ったり悩んだりしていることとしては、「子どもの病気や発育・発達に関すること」が36.7%と最も多く、次いで「子どもの教育に関すること」(32.0%)や「子どもを叱りすぎているような気がする」(26.2%)、「子どもの友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること」(24.0%)、「子どもとの時間を十分とれないこと」(23.4%)が多くなっている。

問28 あなたが現在住んでいる地域の子育て環境について、あなたの意見を回答してください。
 (①～⑨のそれぞれについて1つだけ○)



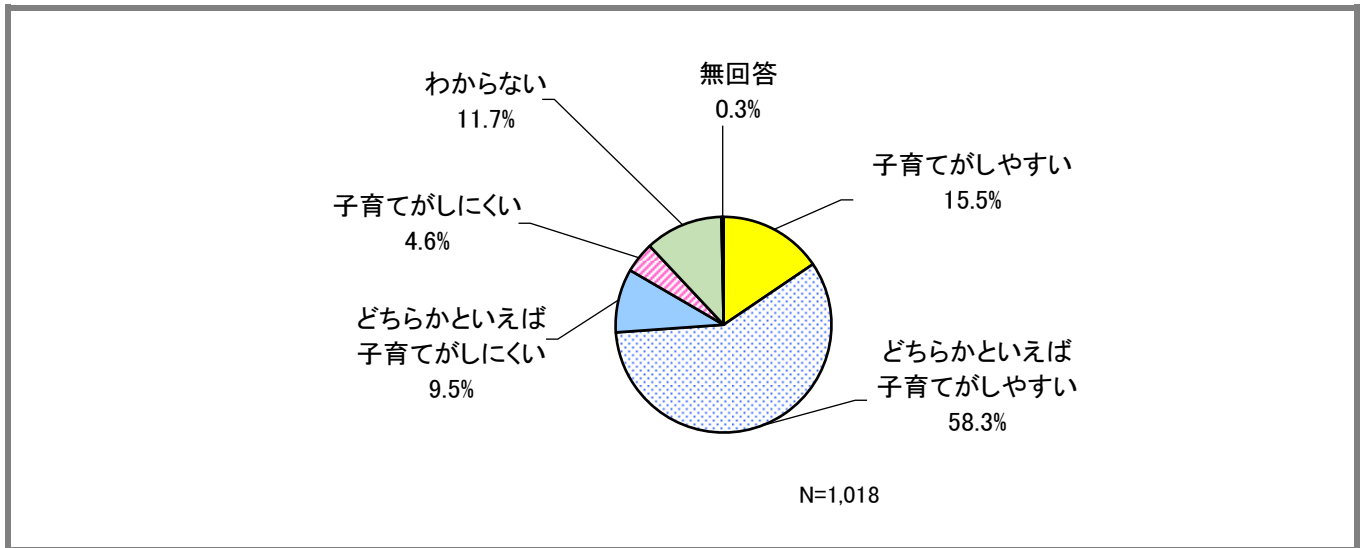
- 地域の子育て環境についての意見は上のとおりで、「そう思う」「ほぼそう思う」という回答割合が高かったのは、「地域の小・中学生は、様々な遊びや体験学習をする場や機会に恵まれている」(63.2%)で、逆に回答割合が低かったのは、「病気や育児疲れの時に、子どもを預けることができる身近なサービスが充実している」(17.2%)となっている。

問29 子育て支援として、身近な地域の人にどのようなことを期待しますか。（3つまで○）



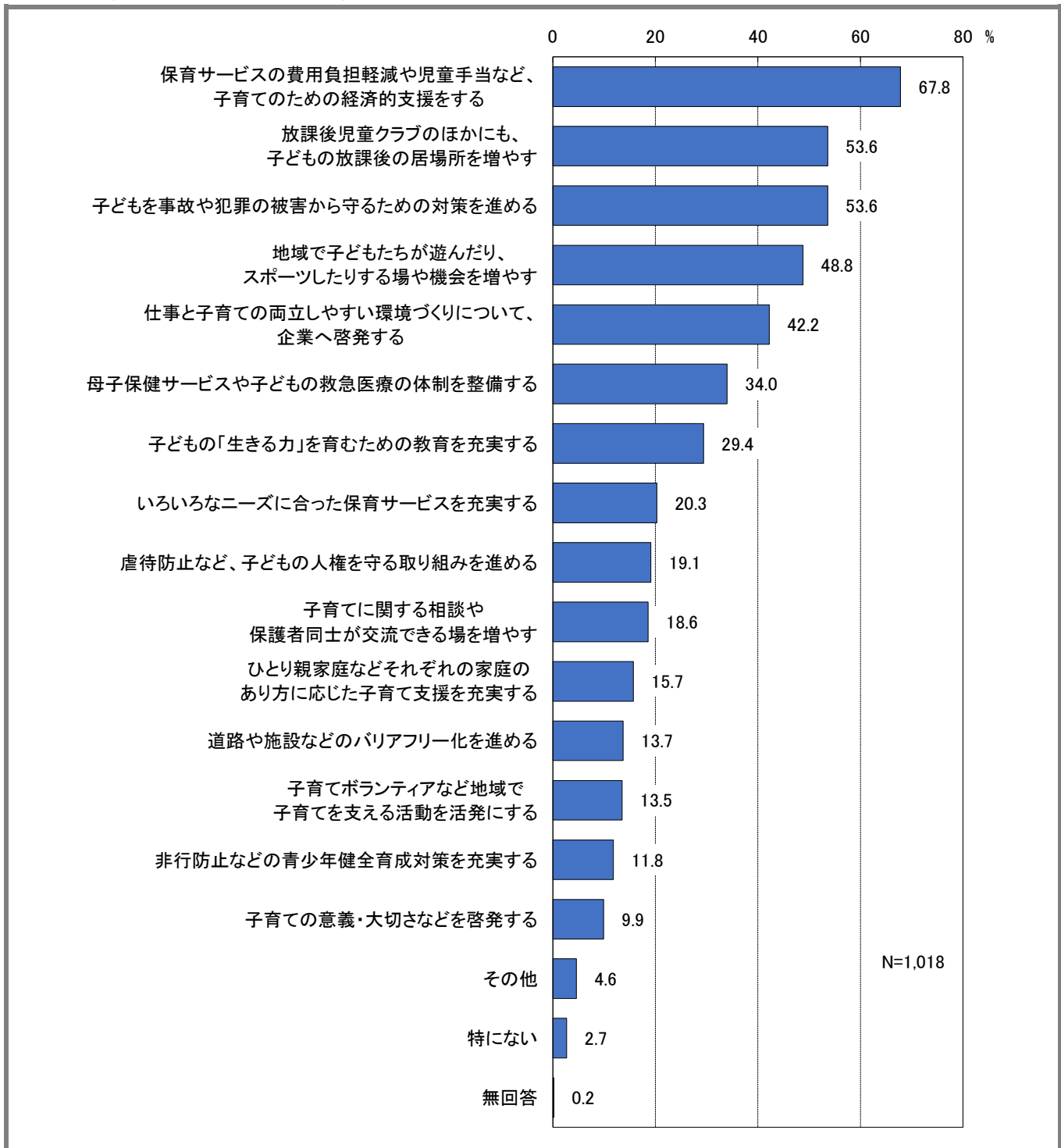
- 身近な地域の人に期待する子育て支援としては、「子どもが犯罪や事故に遭わないよう、見守ってほしい」が 71.8%と最も多く、以下、「危険な遊びやいじめを見つけたら注意してほしい」（54.0%）、「昔の子育てと比較せず、子育ての現状を理解して、温かい目で見えてほしい」（47.8%）と続いている。

問30 いろいろなことを総合して、山口市は子育てがしやすいと思いますか。（1つだけ○）



- 総合的に見て、山口市は「子育てがしやすい」（15.5%）、「どちらかといえば子育てがしやすい」（58.3%）と回答した人の割合は 73.8%で、「子育てがしにくい」（4.6%）、「どちらかといえば子育てがしにくい」（9.5%）と回答した人の割合（14.1%）を 59.7 ポイント上回っている。

問31 子どもを健やかに生み育てるために、市にどのようなことを期待しますか。
（重要なもの5つに○）



- 子どもを健やかに生み育てるために市に期待することとしては、「保育サービスの費用負担軽減や児童手当など、子育てのための経済的支援をする」が67.8%と最も多く、以下、「放課後児童クラブのほかに、子どもの放課後の居場所を増やす」「子どもを事故や犯罪の被害から守るための対策を進める」（ともに53.6%）、「地域で子どもたちが遊んだり、スポーツしたりする場や機会を増やす」（48.8%）、「仕事と子育ての両立しやすい環境づくりについて、企業へ啓発する」（42.2%）と続いている。